

Impacting the World

西南学院大学

西南学院中学校・高等学校

西南学院小学校

舞鶴幼稚園

早緑子供の園

2012(平成24)年度 学校法人西南学院 事業報告書

一粒の麦から、次の100年に向かって



 学校法人 西南学院

西南学院の使命

学校法人西南学院は、「キリストに忠実なれ」の建学の精神に基づいて真理の探求および優れた人格の形成に励み、地域社会および国際社会に奉仕する創造的な人材を育てることを使命とする。

Mission Statement
of
Seinan Gakuin Educational Foundation

Seinan Gakuin, an educational institution endeavoring to be true to Christ in the pursuit of truth in academic affairs and excellence in character development, strives to equip and nurture students to serve as creative and constructive leaders in local communities and in an expanding global society.

目次

2012(平成 24)年度学校法人西南学院事業報告書について	1
I. 学校法人西南学院の概要	
1. 沿革	2
2. 組織図	4
3. 理事・監事・評議員	5
II. 事業の概要	
1. 各学校・園概要報告	
(1) 学院本部	6
(2) 大学	9
(3) 中学校・高等学校	17
(4) 小学校	20
(5) 舞鶴幼稚園	21
(6) 早緑子供の園	22
2. トピックス	
(1) 各学校・園行事	23
(2) 認可・認定・届出	27
(3) 名誉顧問・名誉教授・名誉博士	28
(4) 学位授与	29
3. データ	
(1) 学生・生徒・児童・園児数	30
(2) 教職員数	32
(3) 入学試験日程	33
(4) 入学志願者数及び合格・許可者数	35
(5) 卒業生数	37
(6) 大学卒業生就職状況	38
III. 財務の概要	
1. 資金収支計算	39
2. 消費収支計算	40
3. 貸借対照表	41
4. 財務比率などの推移	42
5. 財務比率比較表	45
6. 学生生徒等納付金一覧表	46

2012(平成 24)年度学校法人西南学院事業報告書について

学校法人西南学院は、2004(平成 16)年以降、当該年度における事業並びに財務の概要を事業報告書としてとりまとめ、2006(平成 18)年度からはその報告書を広く一般にも公開している。2009 年度事業報告書からは、年度初めに策定する事業計画書と内容的な相対性を持たせ、学院の各学校・園における事業の概要がより分かり易い構成となっている。

2010 年 4 月に開校した西南学院小学校の新設によって、西南学院は保育所、幼稚園から大学、大学院までを一貫して備える西日本でも数少ない学校法人となった。各学校・園での教育は、創立時から現在に至るまで建学の精神「西南よ、キリストに忠実なれ」を基としており、2009(平成 21)年からは、更に「21 世紀の西南学院のテーマ“Impacting the World”」を定め、2016(平成 28)年に迎える創立 100 周年に向けた取り組みを学院の内外にて行っている。

本報告書は、Ⅰ．学校法人西南学院の概要、Ⅱ．事業の概要、Ⅲ．財務の概要の 3 部から成り、Ⅱ．事業の概要においては各学校・園の主要な事業、トピックス及びデータを掲載している。本報告書のデータは、2012 年度内のものを基本とするため、それぞれ次の時点のものである。

沿革： 2013 年 3 月 31 日現在

組織図： 2013 年 3 月 31 日現在

理事・監事・評議員： 2013 年 3 月 31 日現在

学位授与： 2013 年 3 月 31 日現在

学生・生徒・児童・園児数： 2012 年 5 月 1 日現在

入学試験日程： 2013 年度入試（2012 年度実施の入試）

入学志願者数及び合格・許可者数、卒業生数： 2013 年 3 月 31 日現在

Ⅲ．財務の概要においては、2012 年度の資金収支計算書、消費収支計算書及び貸借対照表に加え、帰属収入と帰属収支差額、消費収支計算書の財務比率、貸借対照表の財務比率、各種引当資産等に関する推移も掲載している。また、学生生徒等納付金一覧を巻末に付記している。

大学における 2012(平成 24)年度は、第 11 次財政計画(2010—2013 年度)の第 3 年度として、同計画に基づく諸事業に取り組むとともに、2009(平成 21)年度以降に進めてきた「大学施設整備長期計画」を見直して、2011 年度に新たな長期的整備のマスタープラン「大学キャンパスランドデザイン」を策定した。2012 年度から、この計画に沿って個別の計画・設計を具体化している。また施設設備面の充実と合わせて、2011 年 3 月から大学では、ホームページ上に教育研究基本情報ページを開設し、より多くの教育情報の公表に取り組んでおり、本報告書と合わせてご参照いただければ幸いである。

※西南学院大学教育研究基本情報ページ

(http://www.seinan-gu.ac.jp/about/public_information/seinan_basic/)

I. 学校法人西南学院の概要

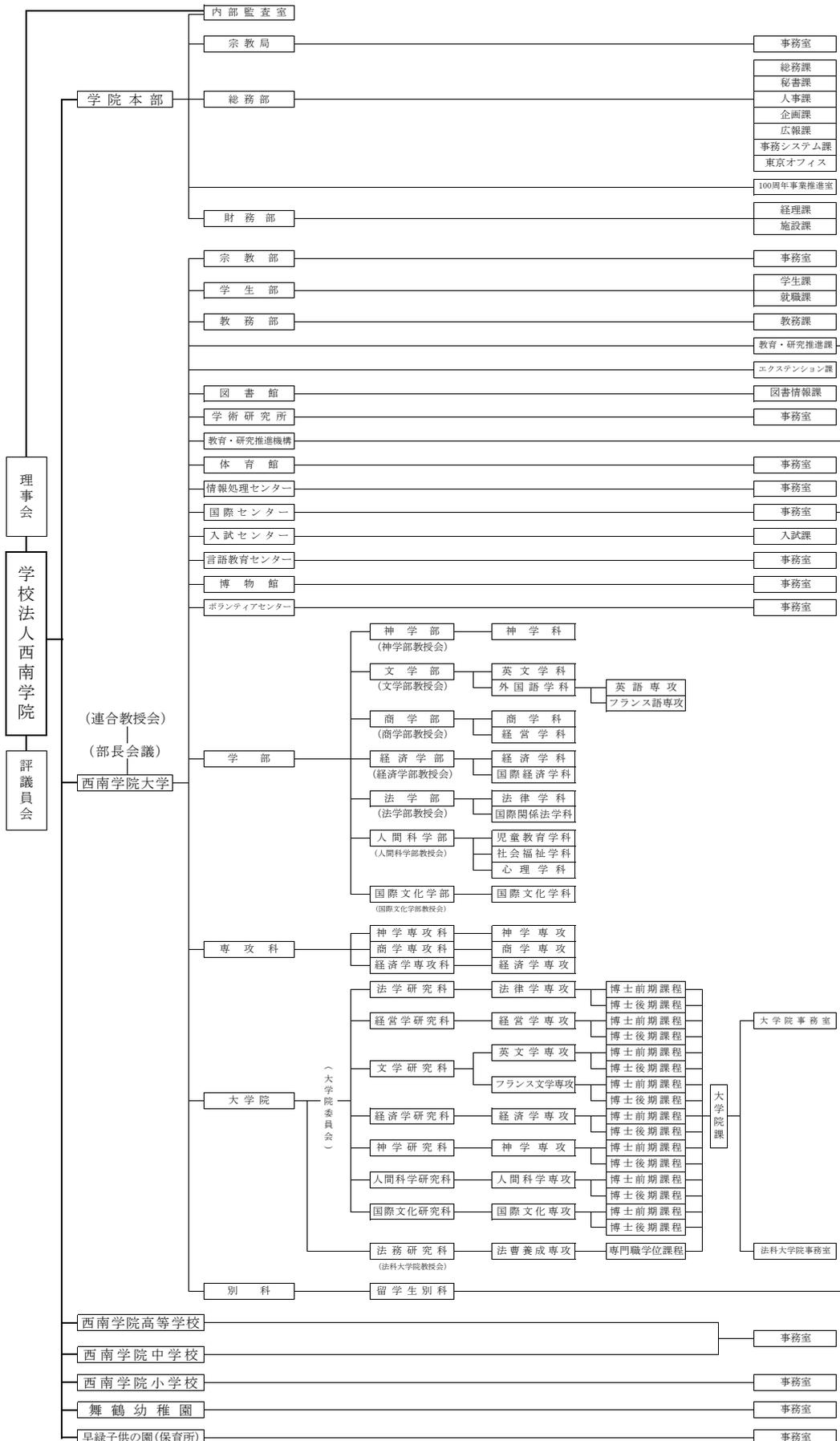
1. 沿革

西暦	元号	年	月	内 容
1916	大正	5年	2月	私立西南学院設立(福岡市大名町105番地)
			4月	西南学院開院式
			11月	私立西南学院を私立中学西南学院と改称
1918		7年	1月	早良郡(現福岡市)西新町に移転
1920		9年	7月	私立中学西南学院を中学西南学院と改称
1921		10年	2月	財団法人私立西南学院財団設立
			4月	西南学院高等学部(文科、商科)設置
			6月	中学西南学院を西南学院中学部と改称
1923		12年	4月	高等学部神学科増設
1939	昭和	14年	4月	西南学院商業学校設置
1944		19年	4月	西南学院高等学部を西南学院経済専門学校と改称、西南学院商業学校を西南学院工業学校に転換
1946		21年	4月	西南学院工業学校が西南学院商業学校となる、西南学院経済専門学校を西南学院専門学校と改称
1947		22年	4月	西南学院専門学校第二部(英文科、経済科)増設、新制西南学院中学校設置
1948		23年	4月	新制西南学院高等学校設置
1949		24年	4月	西南学院大学学芸学部(神学専攻、英文学専攻、商学専攻)設置
1950		25年	4月	西南学院大学短期大学部(児童教育科、第二部:英語科、商科)設置
			4月	舞鶴幼稚園(大正3年3月設置認可)および早緑子供の園(昭和24年6月開設)を西南学院に合併
1951		26年	2月	財団法人私立西南学院財団を学校法人西南学院へ組織変更
			4月	大学学芸学部を文商学部と改称
1954		29年	3月	西南学院専門学校廃止
			4月	大学文商学部を文学部(神学科、英文学科)と商学部(商学科)に分離、文学専攻科(神学専攻、英文学専攻)および商学専攻科(商学専攻)設置
1962		37年	3月	短期大学部第二部(英語科、商科)廃止
			4月	西南聖書学院設置、大学商学部経済学科および商学専攻科経済学専攻増設
1964		39年	3月	大学商学部経済学科および商学専攻科経済学専攻廃止
			4月	大学経済学部(経済学科)および経済学専攻科(経済学専攻)設置
1965		40年	4月	大学文学部外国語学科増設
1966		41年	3月	大学文学部(神学科)および文学専攻科(神学専攻)廃止
			4月	大学神学部(神学科)および神学専攻科(神学専攻)設置、商学部経営学学科増設
1967		42年	4月	大学法学部法律学科設置
1969		44年	4月	大学文学部外国語学科を英語専攻とフランス語専攻に分離、文学専攻科に英語専攻およびフランス語専攻増設
1970		45年	4月	大学商学専攻科経営学専攻増設
1971		46年	4月	大学院法学研究科法律学専攻修士課程設置
			6月	大学国際交流制度発足
1972		47年	3月	大学商学専攻科経営学専攻廃止
			4月	大学院経営学研究科経営学専攻修士課程設置
1973		48年	4月	大学留学生別科設置
1974		49年	4月	大学院法学研究科法律学専攻博士課程および経営学研究科経営学専攻博士課程並びに大学文学部児童教育学科増設
1975		50年	3月	短期大学部(児童教育科)および西南聖書学院廃止
1976		51年	4月	大学文学部国際文化学科増設、大学院文学研究科英文学専攻修士課程およびフランス文学専攻修士課程設置
1978		53年	3月	大学文学専攻科(英文学専攻、英語専攻、フランス語専攻)廃止
1980		55年	4月	大学文学専攻科(国際文化専攻)設置、大学院文学研究科英文学専攻博士課程およびフランス文学専攻博士課程増設
1981		56年	4月	大学院経済学研究科経済学専攻修士課程設置

西暦	元号	年	月	内 容
1985	昭和	60年	4月	博物館学芸員課程設置
1988		63年	4月	大学経済学部経済学科を経済学専攻と国際経済学専攻に分離、大学神学部神学科に神学コースおよびキリスト教人文学コース設置
1992	平成	4年	4月	大学法学部国際関係法学科増設
1994		6年	4月	西南学院高等学校男女共学へ移行
1996		8年	4月	西南学院中学校男女共学へ移行、西南学院中学校・高等学校一貫教育実施
1997		9年	4月	大学院文学研究科国際文化専攻修士課程増設
2000		12年	4月	大学院文学研究科国際文化専攻博士課程増設
2001		13年	4月	大学文学部社会福祉学科増設
2004		16年	4月	大学院法務研究科法曹養成専攻(法科大学院)専門職学位課程設置
2005		17年	3月	大学文学部児童教育学科、社会福祉学科および経済学部経済学科の2専攻(経済学専攻、国際経済学専攻)廃止
			4月	大学人間科学部児童教育学科、社会福祉学科設置および経済学部国際経済学専攻増設
			4月	大学院神学研究科神学専攻修士課程および人間科学研究科人間科学専攻修士課程設置
2006		18年	3月	大学文学部国際文化学科、文学専攻科(国際文化専攻)および大学院文学研究科国際文化専攻博士課程廃止
			4月	大学国際文化学部国際文化学科および大学院国際文化研究科国際文化専攻博士課程設置
2007		19年	4月	大学院神学研究科神学専攻博士課程および人間科学研究科人間科学専攻博士課程増設
2009		21年	4月	大学院経済学研究科経済学専攻博士課程増設
2010		22年	4月	西南学院小学校開設
2012		24年	4月	大学人間科学部心理学科増設

2. 組織図

2013(平成25)年3月31日現在



3. 理事・監事・評議員

[2013(平成25)年3月31日現在]

◎理事長 ○常任理事

職名	系列	氏名
理事 (定数22名 現員20名)	院長	○ G.W. ハークレー
	学長	[G.W.ハークレー]
	高等学校長	○伊原幹治
	中学校長	[伊原幹治]
	小学校長	○和佐野健吾
	事務局長	○高良研一
	副学長	武井俊詳
	大学部長会議構成員	伊藤龍峰 ○古賀衛 中島和男 上垣彰
	牧師系列	金子敬 踊一郎 奥田知志 平良憲誠
	評議員系列	K. J. シャフナー
	卒業生系列	秀島正博 中村晴光
	学識経験者系列	北村慎二 小林洋一 酒見啓祐 ◎吉田茂生
監事(定数2名 現員2名)		中村一也 吉田□俊
評議員 (定数50名 現員47名)	院長	G.W. ハークレー
	学長	[G.W.ハークレー]
	高等学校長	伊原幹治
	中学校長	[伊原幹治]
	小学校長	和佐野健吾
	宗教局長	K. J. シャフナー
	事務局長	高良研一
	副学長	武井俊詳
	大学部長会議構成員	伊藤龍峰 片山寛 古賀衛 中島和男 大谷裕文 上垣彰
	高等学校教頭	中根広秋
	中学校教頭	山内芳広
	小学校教頭	宮崎隆一
	高等学校宗教主任	坂東資朗
	中学校宗教主任	宮崎宗親
	幼稚園長	井上哲雄
	保育所園長	[和佐野健吾]
	事務部長会議構成員	坂井啓 高木幸二
	牧師系列	金子敬 踊一郎 奥田知志 白石久幸 平良憲誠 友納靖史
	卒業生系列	崔白雲 秀島正博 岩崎文正 川内光 松原照明 中村晴光 田川大介 梅木光男
	学識経験者系列	今井尚生 北村慎二 小早川晶 小林洋一 相模裕一 坂本雅子 酒見啓祐 綿貫真理 吉田扶久子 吉田茂生
教職員系列	小山雅亀 大杉晋介 土田珠紀	

注：各系列内はアルファベット順。

注：〔 〕 は兼務を示す。

Ⅱ. 事業の概要

1. 各学校・園概要報告

(1) 学院本部

A. 建学の精神に基づく、一貫教育による国際的な能力を育成するための教育の推進

各学校・園では、チャペル等の時間を設けて日常的にキリスト教主義に基づく人格教育を行うと共に、各年齢段階に応じた語学教育、研修・留学の機会等を設けて、語学力及び国際的に活動できる能力の育成に努めた。

B. 西南学院創立 100 周年事業の実施

学院創立 100 周年に向けて、4 つの基本コンセプトに基づいた様々な事業を展開している。

① 記念事業関係

- ・人間科学部心理学科開設(2012 年 4 月)
- ・言語教育センター棟竣工(2012 年 4 月)
- ・西南学院東京オフィス開設(2013 年 1 月 7 日)

② 行事関係

- ・「マイケル・サンデル教授 in 福岡」開催(2012 年 5 月 30 日)
- ・西南学院フェア(2012 年 6 月～8 月)
- ・西南学院プレゼンツ「お話アカデミー」(2012 年 8 月～2013 年 3 月)
- ・学院史パネル展開催[西新プラリバにて](2012 年 10 月 1 日～14 日)
- ・西南リコーダー・フェスティバル(2012 年 10 月 27 日)
- ・西南学院オラトリオ・アカデミー2012(2012 年 11 月 3 日)
- ・西南学院史講演会(2012 年 11 月 22 日)
- ・西南学院東京オフィス開設記念講演会
「陣内孝則氏～西南の思い出を語る」(2013 年 2 月 27 日)

③ 広報関係

- ・100 周年新聞広告(2016 年まで創立記念日に毎年掲載)
- ・博多駅スクロール広告(2012 年 1 月～)
- ・大学卒業生向け広報誌(Re:SPIRIT)発行(毎年 3 月)
- ・「西南オリジナルワイン」発売

④ その他

- ・西南学院創立 100 周年記念募金・基金実施に係る答申(2013 年 1 月)
- ・西南学院・同窓会連合会協議会設置(2013 年 1 月)
- ・100 周年記念館(仮称)建設基本計画に係る答申(2013 年 3 月)

C. 「エコキャンパス」計画の推進

2010 年度を「エコキャンパス元年」と位置づけ、省エネルギー化を推進してきた。その一環として、2012 年度に大学 2 号館及び 4 号館の空調機器を最新の省エネ型機器(GHP: Gas Heat Pump)へ取替える工事を行った。なお、2013 年度は 1 号館東棟の空調

機器取替えを行い、更なる空調負荷低減を目指したい。

また、西南会館(学生会館)の大集会場の天井部分の改修工事に伴い、照明設備をすべてLED照明器具に取替えを行い、消費電力の低減化を図った。

D. 総人件費の抑制とそれによる教育研究経費の割合の増加

大学では、大学給付奨学金 3,420 万円、緊急支援奨学金 648 万円を支給し、経済的に困窮している学生への奨学金事業を実施した。また、本学初のメリットベースの奨学金として、2011 年度に創設された「成績優秀者奨学金制度」を維持・継続し、学業をさらに奨励することを目的として 1,310 万円を支給した。さらに今年度は、本学教職員からの寄付金を原資とした「西南学院大学教職員による奨学金制度」を導入し、4 名に対して 144 万円を支給した。

管理経費は前年度比 5%カットの導入を図る一方、教育研究経費については内容を精査して増額に努め、人件費の抑制策も鋭意検討している。中学校・高等学校では奨学金(累計額 3 億円)の運用収入を財源とした奨学金の拡充を検討している。

E. 将来計画に備えるための健全な財政基盤の確立

教職員に対して「西南学院の健全な財政のために」の文書を配付し、帰属収支の改善、人件費抑制への理解を求めた。

また、補助金対策チームを立ち上げ、経常費補助金の増額を目指した効果もあり、大学において 2 億 7,700 万円の増加となった。

2012 年度の予算執行に当たっては、一定の基準を設定し、特に大規模工事等の発注において見積り内容を精査して厳正に対応するなど経費削減に努めた。物品購入については、株式会社キャンパスサポート西南を活用してさらなる支出の削減に努めている。その他、寄附金、競争的補助金、資産運用収益等の増額の具体的な方策も検討中である。また、2 号基本金として、体育館 2 億円、西南会館 5,000 万円、本館 5 億円及び中学校・高等学校空調設備 1 億 3,500 万円を積立てた。

F. 宗教局活動

① 学院聖句の学院内における浸透

2012 年度学院聖句 エフェソの信徒への手紙 6 章 14～16a 節

② 学院コンサートの開催

- ・樋口隆一・光野孝子・安積道也・明治学院バッハ・アカデミー「教会音楽のしらべ」(4 月 21 日)
- ・財津和夫「弾き語り・ミニライブ」(6 月 18 日)
- ・青島広志「ブルー・アイランド氏が語るオペラ 112 年史」(7 月 14 日)
- ・前田りり子&佐藤豊彦「ルネサンスのフルートとリュートの夕べ」(11 月 23 日)
- ・安積道也、上野美科、西南学院オラトリオ・アカデミー・アンサンブル BASSO OSTINATO バッソ・オスティナート！(1 月 14 日)

③ 学院クリスマス行事

- ・教職員クリスマス(12 月 12 日) 献金額 250,000 円
- ・西南学院コミュニティ・クリスマス(12 月 21 日) 献金額 85,432 円

④ その他

- ・公開演奏会(11月29日)募金額 31,807円
- ・西南学院朝の祈り会(原則毎月第1水曜日)
- ・アルファコース(キリスト教入門講座)

G. 東日本大震災被災地支援活動

東日本大震災の復興支援として、義援金活動を継続実施した。2012年度の義援金は721,016円、2011年度からの義援金総額は、12,178,461円となった。なお、義援金活動への協力及び報告については、西南学院及び西南学院大学ホームページに掲載し、義援金は、日本バプテスト連盟、遠野まごころネット及び日本赤十字社を通じて送金した。

(2) 大学

A. 教育と研究の充実と強化のために

① 人格教育の強化

ア. 自校史講義「西南学院史」(半期・2単位)の開講(2012年度受講者約300名)

イ. 大学宗教部活動の充実

a. チャペル〔前期：4月～7月、後期：9月～1月〕

・毎週火曜日～木曜日の3日間。10時35分～11時(25分間)

・チャペルは正規の教育プログラムの一環として全学生を対象に実施した。

b. キリスト教フォーカス・ウィーク

・春季(5月29日～5月31日)

5月29日百瀬文晃(カトリック・イエズス会司祭、細江教会・彦島教会主任司祭)

5月30、31日上原令子(コンテンポラリーゴスペルシンガーソングライター)

・秋季(11月27日～11月29日)

11月27、28日土井健司(関西学院大学神学部教授)

11月29日佐藤彰(福島第一聖書バプテスト教会牧師)

c. その他

・公開講演会：茂木健一郎講演会(7月13日)

・オルガンコンサート：クシシュトフ・ルカス(6月23日)、古賀智子(9月22日)

・卒業礼拝(2013年3月21日)

・クリスマスツリー・ディスプレイ点灯式(11月30日)

・キャンドル・サービス(12月20日)

・宗教部リトリート・宗教部関係者懇談会(2013年2月27日)

・第42回ファカルティ・リトリート(2013年3月6日)

② 教育内容・方法の充実

ア. 国際交流

a. 協定校

2012年度は、アメリカのファーマン大学、デンマークのコペンハーゲン大学、韓国の釜慶大学の3つの協定校を追加し、12か国37大学となった。

b. 海外派遣留学生

1学期または1学年間、協定校に留学した海外派遣留学生は61名であった。

夏季・春季休暇中の短期語学研修は、9か国13校で実施して、251名が参加した。現在、短期語学研修で学ぶことができる言語は、英語、フランス語、ドイツ語、中国語、韓国語に加えてイタリア語の6言語である。

2012年度からグローバル人材育成及び将来の国際機関職員へ可能性を広げるために、ヨーロッパ国際機関研修を実施した。この研修は、フランス・パリにあるOECD(経済協力開発機構)、UNESCO(国際連合教育科学文化機関)及びベルギー・ブリュッセルにあるEU(欧州連合)を訪問して、各機関の見学のほか、各機関に働く邦人職員に直接インタビューを実施して、各学生が設定した課題について理解を深める研修である。2012年度は10名が参加し、帰国後に報告会を実施した。

c. 受入れ留学生

留学生別科では、主に協定校からの交換留学生を受け入れて、日本語の他に、日本の文化、社会、経済等に関する 23 科目を英語により提供した。2012 年度は、66 名の留学生(私費外国人留学生を含む)を受け入れた。また、海外の大学生を対象とした 1 か月間の日本語集中講座である夏期日本語研修には、アメリカ、フランス、オーストラリア、シンガポール、中国、韓国の 6 か国 39 名が参加した(募集定員は 40 名)。

d. 交換教授・研究員

2012 年度は、フランス、カメルーン、中国、韓国から交換研究員、客員研究員 6 名を受け入れた。

e. その他交流事業

本学と米国バイラー大学の姉妹校協定締結 40 周年を記念して、2012 年 9 月に本学の管弦楽団関係者 35 名がバイラー大学を訪問し、バイラー大学音楽学部と合同演奏会を開催した。

イ. 教育・研究の交流

著名な業績のある人物を招聘する客員教員制度を 2010 年 4 月に導入し、2012 年 4 月から 1 年間、初めての客員教授として九州国立博物館から 2 名を受け入れた。

ウ. 語学教育の強化

2012 年 4 月に新棟へ移転した言語教育センターでは、充実した機器と豊富なメディア等を活用して、以下のとおり、学生の語学力強化に取り組んだ。

- ・外国語会話の適応能力の習得や TOEFL、TOEIC スコアのレベルアップを目的として、外国語教員や大学院生の指導のもと、前期・後期合わせて 21 コマの無料の語学学習講座を開いた。
- ・外部講師による有料での TOEFL 対策講座及び英語基礎力養成講座を 1 コマずつ設けて、学生の語学力向上を支援した。

エ. 情報処理教育の強化

高い情報対応力を備えた人材養成実現を目的とした、情報処理教育科目の強化・充実のため、次の取り組みを実施した。

- ・心理学科設置及び過去の受講状況等をもとに、開講数や曜日・時限を見直し、学生がより受講しやすい形とした。
- ・パソコン教室には授業が円滑に進むよう、主に機器操作のサポートをするプログラム相談員(学生アルバイト)を配置しているが、事前に Moodle(e-Learning システム)の知識を習得させ、より学修支援を充実させた。
- ・e-Learning コンテンツの更新を行い、最新の情報技術動向を反映した教材において教育が実施できる環境を実現した。
- ・新たなニーズを反映したカリキュラム整備の準備として、他大学の情報処理教育科目の状況や学生アンケート等情報収集を行い、関係者で検討をした。

③ 大学間連携の強化

ア. 継続中の大学間連携

- a. 九州大学、福岡女子大学及び福岡工業大学と本学との包括連携を核として、

国公立大学コンソーシアム・福岡、Q-Links(九州地域大学教育改善 FD・SD ネットワーク)、福岡西部地区 5 大学連携等の複数の大学間連携事業を推進した。なお、国公立大学コンソーシアム・福岡については、当初目標の共同大学院の設置に関して、2012 年 6 月 25 日開催の「コンソーシアム戦略会議」での総長、学長の意見を踏まえて、「共同大学院設置構想検討委員会」を「コンソーシアムプログラム高度化検討委員会」に名称変更し、共同大学院の設置に替えて文理融合型カリキュラムの編成、コース制等についての検討を行っている。

- b. 本学大学院神学研究科とアジアバプテスト神学大学院との間で、相互の神学教育・研究促進を目的に連携事業を推進した。
- c. 九州大学、福岡女子大学とともに発足した、日本における欧州連合(EU)の高度な学術研究拠点としての EU Institute in Japan(EUIJ)九州において、学部学生や大学院生を対象に EU をテーマにした科目を履修できる「ディプロマプログラム」を実施した。本学からは延べ 171 名がこのプログラムに参加し、34 名がディプロマプログラム終了申請し、すべて修了認定を受けた(残りの者は継続中)。本学でシンポジウムおよび国際会議を開催したり、留学生への奨学金提供、研究者への助成なども行った。また、2011 年度からは単位互換制度を設け、他大学からの受講者の受け入れも行っている。
- d. アジア経済の発展に寄与する人材育成を目的に、上海交通大学(中国)、釜慶大学校(韓国)と共同して、約 3 週間の日中韓大学共同授業—東アジア文化交流プログラム—を実施した。これは、3 大学から選抜された各 10 名、合計 30 名が 1 クラスを作り、夏季休暇中に 3 大学を巡回しながら、福岡、上海、釜山という港湾都市の文化、経済、社会に関する講義(文化探訪を含む)を受講するプログラムである。講義はすべて英語で行われた。
- e. 本学大学院法学研究科とエクスマルセイユ大学(旧：ポール・セザンヌ・エクスマルセイユ第 3 大学)法学研究科との間で、両大学の修士課程・博士課程の学生に日本法、ヨーロッパ法を修得するための教育コースを提供する連携事業を推進した。交換学生が、外国法システム専攻国際プログラム「ヨーロッパ法・日本法」コースを修了した場合、フランス政府から「マスター2・企業法」の学位が授与される。

④ 学部・学科の新設・改編

ア. 人間科学部心理学科の開設

2012 年 4 月に、人間科学部心理学科が開設し、初年次の専任教員は 5 名、第 1 年次入学者は 137 名であった。

イ. 新学部・学科の設置に向けた検討

社会と受験生の需要を充足するために、新しい学部設置等に関する構想を練るための委員会を立ち上げて検討を進めた。具体的には 2012 年 7 月 1 日に学長の諮問機関として「グローバル人材育成を目指す新学部・学科構想委員会(委員長 武井副学長)」を組織し設置構想案の策定を行った。

⑤ 教育・研究支援

ア. 大学奨学基金の充実

大学第 11 次財政計画に基づき、大学奨学基金及び教育研究振興基金として、それぞれ 5,000 万円を積立てた。これまでの累計額は大学奨学基金 10 億 8,000 万円、

教育研究振興基金 5 億 7,000 万円である。2011 年度から成績優秀者奨学金制度を導入し、2012 年度は 1,310 万円を支給するとともに、緊急支援のための奨学金についても 648 万円を支給した。

イ. 教育・研究の特色強化のための資金の充実

2010 年度からさらに充実させた「特色ある学部教育実施経費」により、学部では、TOEIC 公開、TOEIC-IP 受験料補助金や初年次教育支援として SA の人件費のほか、学生の自主的な学習環境の整備のため、Moodle (e-Learning システム) で利用可能な教材を用意し、スタディスキル、就職活動対策、コンピュータスキルの各分野で計 25 種の教材を学生が自由に利用できるようにした。2013 年度にはさらに増額することを決定し、更なる支援の充実を目指している。大学院では「大学院給付奨学金」や授業で使用する機器を導入し、法科大学院では実務家教員(弁護士)のティーチング・アシスタント及びチューターの人件費や「法科大学院外部評価報告書」の印刷製本費等に充てた。

ウ. 教育・研究推進機構

教育・研究推進機構では、学内 GP 制度の後継制度である教育インキュベートプログラムの募集を開始し、2012 年度後期開始分を 6 件、2013 年度前期開始分を 2 件採択した。また、共同研究育成制度と特別研究制度(学術研究所所管)を統合した研究インキュベートプログラムの募集を行い、現在、選考中である。また、法令や政策の動向を確認し、理解を深めるために「大学改革フォーラム」を 3 回開催した。

エ. 文部科学省 GP 採択事業

「文部科学省 GP」に採択されている、国公立大コンソーシアム・福岡ー地域からアジアへ、環境・エネルギー問題に挑むー(平成 20 年度戦略的大学連携支援事業)を継続的に支援した。

オ. 学生による授業評価見直し検討

全学 FD・学士課程教育推進委員会内に「授業評価見直し検討委員会」を設け、授業評価アンケートの見直し検討を行った。

カ. 西南学院大学教職員による奨学金制度の創設

本学教職員有志及び本奨学金制度の趣旨に賛同される方の寄付金を原資とし、経済的理由により学資の支弁が困難な学部学生を支援するための奨学金制度を昨年度に創設した。創設 2 年目となる 2012 年度の寄付総額は 3,862,000 円、給付総額は 1,440,000 円(4 名)であった。

B. 社会貢献の充実と強化のために

① 学外連携強化

福岡市の教育改革プログラム「21 世紀の福岡市らしい教育の推進」の取り組みのひとつとして、2004 年度にスタートした「学生サポーター制度」について、本学は初年度から福岡市と協定を結び、市立学校や幼稚園の授業の補助、課外活動の支援等のために学生を派遣している。2011 年度からは、筑紫野市とも同様の取り組みを始めた。

② 生涯学習の充実

ア. 公開講座の開講(2 講座)

イ. リカレント講座(2講座)

③ 博物館の充実

ア. 春季及び秋季企画展

春季：大学博物館共同企画シリーズⅡ「閉ざされた島 開かれた海—鎖国のなかの日本—」

秋季：「キリシタン考古学の世界」2012年10月19日～12月15日

イ. 企画展

「閉ざされた島 開かれた海—鎖国のなかの日本—partⅡ」

「シーボルト著「日本」にみる近世NIPPON」

「古写真にみる西南学院Ⅱ」

「ギョギョギョ☆西南海ステリー博」

ウ. せいなんこどもワークショップ(小学生対象)

エ. その他

特別展図録、博物館ニュース、年報等を発行

④ ボランティアセンターの設立

ボランティア活動を建学の精神の具現化並びに大学の社会貢献の一つと位置付け、学生、教職員等によるボランティア活動を支援・促進することを目的とし、2012年7月にボランティアセンターを設立し、以下の活動を行った。

- ・東日本大震災ボランティア(8月～11月 岩手県・宮城県)
- ・海外ボランティア・ワークキャンプ(2013年2月15日～2月25日)
- ・ストプロ★寄附本プロジェクト

親元で暮らせない子ども達、不登校になった子ども達に、学習支援や就労のためのスキルアップ、居場所を提供する活動を行っている「一般社団法人ストリート・プロジェクト」へ不要となった古本等を寄附し、売却代金を寄附するプロジェクト

寄附本回収冊数 2,289冊 寄附金額 105,626円

- ・久山療育園ボランティア
- ・学生ボランティア登録制度

C. 教育と研究の環境整備のために

① 3号館の解体

2012年1月に言語教育センター棟が完成し、その後3号館にあった言語教育センター機能を同建物内に移転させた。旧耐震基準により設計された3号館は2013年3月に解体し、跡地には暫定的に仮設駐輪場を設けた。また、2号館から4号館までの渡廊下を設置した。

② 情報処理環境の整備

西南学院大学総合情報ネットワークシステム(SAINS)のSINET経由の対外接続を100Mbpsから1Gbpsへ強化した。マルチメディア教室の教育機器については、計画通り9室の機器更新を実施した。また、心理学科において、学習ポートフォリオシステム(Mahara)を導入し、運用を開始した。

③ 将来の施設建設資金

大学第11次財政計画に基づき、体育館2億円及び西南会館5,000万円を積立てた。また、本館に5億円を積み立てた。さらに、今後の中央キャンパスの整備計画に備

えるため3億円を施設・設備拡充引当特定資産として設定し、資金を留保した。

④ 学生証及び教職員名札のICカード化

2012年4月から、学生証及び教職員名札を磁気ストライプカードからICカードへ変更し、新たなサービスとしてプリペイド機能を持たせて大学生協での購買と証明書自動発行機の利用をキャッシュレス化した。また、本館及び図書館等の入退館についてもICカードで利用できるようにした。なお、試験的に簡易型リーダーを導入し、出席状況調査等の利用を行い、利便性について調査・検討した。

⑤ エコキャンパスの推進

大学環境マネジメント委員会の各委員会において、省資源、省エネルギー、グリーン購入の推進及び廃棄物の減量と適正管理などをはじめとする活動を進め、大学内の環境負荷の低減に努めた。また、省エネに関する啓発活動も検討・実施した。特に2012年度においては、国と電力会社から示された使用電力削減要請を受け、夏季休暇期間中の勤務時間変更や節電のための巡回等の省エネ対策強化に努めた。

⑥ 大学キャンパスグランドデザインの推進

2012年3月に策定した大学キャンパスグランドデザインは、大学キャンパス整備の基本方針に関して、キャンパスの景観、学生・教職員の動線、省エネや防災対策、地域貢献などの多方面から検討し、施設の建替えや配置、外構等を総合的に計画したマスタープランである。

その第一段階として、中央キャンパスにある本館機能を東キャンパスに移転するため、大学院棟北側に新本館建設工事を2013年3月に着工した。竣工は、2014年2月末を予定している。当該工事に先立ち、東キャンパス内の駐車場を法科大学院北側に移設した。

⑦ 語学教育の環境の整備

2012年4月に新棟へ移転した言語教育センターでは、以下のとおり、充実したCALL・LL・AV機器や設備、豊富な教材等を完備した。

・ラウンジ(1階～3階)

BBC放送やCNN放送を聴きながら休憩することができる場を設けることで、語学教育の場を強く印象づけた。

・メディア学習室

学生が自由に利用できる自習室として設置し、語学系の資格取得に関する書籍や雑誌・新聞を揃えた書籍コーナーや、外国映画や海外ドラマのDVDやCDを揃えたDVDコーナー、発声練習ブースやグループ学習室を設けて、外国語能力の習得と語学能力の向上を支援した。(初年度利用者数：延べ10,118名、書籍やDVD等のメディアの利用件数：延べ11,123件)

・AVスタジオ教室

防音対策を施した本格的な映像スタジオと音声教材の作成が可能なブースを併設した教室を設けた。初年度は、PR不足から利用者数は伸びなかったが、AVスタジオ教室の有効な利用方法を教員にPRすることで、今後は、授業での研究発表のみならず、学院オリジナル教材作成などに利用増加が期待できる。なお、同センター所属の外国語教員と学生アシスタントにより、本スタジオにおいて収録されたオリジナル音声教材を、言語教育センターHPにて配信している。

・CALL教室

ネットワークにつながった PC をはじめ、映像や音声の各種メディアに対応するシステムを備えた語学教育に特化した教室を設けた。教室の稼働率は、前期・後期とも 90%を超えた。

D. 東日本大震災被災地支援活動

被災地でのボランティア活動は、東北学院大学が中心となって全国 88 大学で取り組んだ大学間連携災害ボランティアネットワークへの参加及び日本バプテスト連盟及び遠野まごころネットの協力を得て本学独自での活動を実施した。主な活動は、以下のとおり。

- ① 東日本大震災ボランティア現地派遣及び報告会
 - ア. 岩手県遠野市(日本バプテスト連盟、遠野まごころネット)
4 期にわたり学生を派遣(学生 43 名、引率教職員 8 名)
 - イ. 宮城県仙台市(日本バプテスト連盟)
2 期にわたり学生を派遣(学生 18 名、引率教職員 4 名)
 - ウ. 宮城県気仙沼市(大学間連携災害ボランティアネットワーク)
2 期にわたり学生を派遣(学生 20 名、引率教職員 1 名)
 - エ. 学部ゼミ生等
神学部(学生 14 名、引率教員 1 名)、人間科学部(学生 7 名、引率教員 1 名)
 - オ. 震災ボランティア報告会(12 月 10 日)
- ② クリスマスカード送付及び寄書色紙の送付
日本バプテスト連盟を通じて実施した岩手県及び宮城県の仮設住宅ボランティアに参加した学生が、訪問した仮設住宅全世帯に対してクリスマスカードを作成し贈呈した。また、震災 2 年目を覚えて 3 月 11 日前に、震災ボランティアに参加した学生を中心に、被災地支援団体等(日本バプテスト連盟東北地方連合等)26 箇所へ寄書色紙を作成して贈呈した。
- ③ 街頭募金
被災地ボランティア活動に参加した学生を中心に天神地区にて街頭募金を実施。
参加者 58 名 募金総額 291,923 円
日本バプテスト連盟支援募金に送金
- ④ 弁当容器回収
大学生協及び西南クロスプラザのリリパック容器の回収による義援金活動
義援金額 107,800 円(累計金額 205,380 円)

E. 経営の充実と強化

管理・運営の整備を以下のとおり行った。

- ① 大学評価への取り組み
次期自己点検・評価を展望して大学内に大学(大学院)設置基準及び認証評価基準を踏まえた内部質保証システムの考え方を定着させ、自律的に展開する仕組みの整備を開始した。
具体的には、まず、自己点検・評価活動の指針として「西南学院大学自己点検・評価活動実施概要」及び「西南学院大学自己点検・評価規程」を制定した。
- ② 日弁連法務研究財団による本学法科大学院適合認定について
本学大学院法務研究科(法科大学院)は、2012 年度下期に公益財団法人日弁連法務

研究財団の認証評価を受け、運営と自己改革、入学者選抜、教育体制、教育内容・教育方法の改善に向けた組織的取り組み、カリキュラム、授業、学習環境及び人的支援体制、成績評価・修了認定、法曹に必要なマインド・スキルの養成に関して同財団の定める法科大学院評価基準に適合しているとの認定を受けた。

(3) 中学校・高等学校

A. 中学校・高等学校の動きについて

少子化と経済不況の中で、私立学校は大きな試練に直面しており、定員の確保が大きな課題となっている。周辺私立学校の校舎の改装や男女共学化、大学との系列化などが進められており、これら改革の先発校であった本校の優位性をどう保ち、「教育の西南」をアピールしていくかが課題となっている。幸いにも本校は志願者に恵まれ、2013年度も必要な生徒数を確保することができた。

また、2013年度大学入学試験の結果において、国公立大学に153名(うち九州大学に55名)の合格者を出すなど、順調な結果を残すことができた。主な大学への合格実績は以下のとおりである。

主な大学合格実績 (2013年4月15日現在)

東京大学	3名	一橋大学	1名	京都大学	1名	大阪大学	8名
東京工業大学	3名	北海道大学	3名	筑波大学	2名	神戸大学	3名
広島大学	2名	九州大学	55名	九州工業大学	17名	熊本大学	6名
西南学院大学	163名	早稲田大学	26名	慶應義塾大学	11名	上智大学	7名
国際基督教大学	3名	青山学院大学	10名	同志社大学	43名	立命館大学	47名

B. 2012年度の主な事業

① 学校評価の検討

自己評価・外部評価について、継続的に研究を行っている。なお、具体的な進展までは至っていない。

② キリスト教教育プログラムの推進・充実

本校の建学の精神の具現化、教育目標のキリスト教教育の側面からの取り組みとして、下記の主要行事をはじめとするプログラムを推進し、その充実に努めた。

1)チャペル 2)ミッションウィーク 3)ボランティア活動 4)平和教育、人権・「同和」教育

③ 奨学事業の検討

既に奨学基金3億円の積み立てを終えているが、具体的な運用は行わなかった。低金利の中において、今後の安定的な奨学事業財源の確保と有効活用を図っていくため、更に3億円を奨学基金として積み立て、総額6億円まで増額させる計画を策定した。2013年度には具体化したいと考えている。

④ 減価償却期間満了に伴う対応

100周年事業の一つとして体育館の空調化及び校舎空調機器の取り換えを検討しており、空調機器設置のための基金を設け、継続して積立を行った。

また、上述③の奨学事業のための基金として、2013年度から毎年1億円の積立を予定している。

⑤ 建物、設備の修繕・改修計画の策定

中・長期的な修繕時期と必要経費の資料を作成し、検討を加えた。また、部室ビレッジの改修についても具体的な改修案を作成し、関係者からの意見や要望を聴取

した。

なお、2012年度中に教育的観点から、以下の施設設備の改修や整備を行った。

1) 中学家庭科教室の流し台の全面交換、2) チャペル、中学音楽教室、中学予備教室への映像・音響機器一式の設置、3) 大型絵画展示ギャラリーコーナーの新設と展示、4) テニスコート、ハンドボールコートへの庇及び電源設備の取り付け

⑥ 西南学院小学校と中学校との連携について

2014年度から始まる西南学院小学校からの生徒受け入れについて、中学校・高等学校としての受け入れ方針を決定するとともに、小学校との間で設置している「小中高連携検討委員会」において継続的に協議を進めている。

⑦ 広報活動の充実

2012年4月から校務分掌に「広報委員会」を設置した。また、2012年8月に本校ホームページを全面リニューアルし、広報活動と情報発信力を強化した。

⑧ 教育カリキュラムの見直し

新学習指導要領に対応するため、2012年度以降の教育課程表の改訂を行った。

⑨ その他

林間学校委員会による林間学校行事内容の見直しや、中学校修学旅行の1日延長計画などを検討した。

C. 東日本大震災被災地支援活動

① 講話

前期ミッションウィークにおいて金子千嘉世先生(日本バプテスト連盟副理事長)をお迎えし、被災者支援の現場におられる先生からお話をうかがった。また、2学期には坂東資朗宗主任の現地訪問報告を交えたチャペル講話が行われた。

② 「金丸通信」掲示

震災直後の仙台(仙台北教会)に転任された、元福岡有田教会牧師(本校のチャペルにもご協力)の金丸真先生が現地での出会いをまとめた私信「金丸通信」を受信のたびにエントランスホールに掲示し、関心、祈りの継続を呼びかけた。

③ クリスマス献金

クリスマス献金の送呈先として、あしなが育英会東日本大震災・津波遺児奨学金、日本バプテスト連盟被災地支援募金、外国人被災者支援センターを選定した。また、後援会母の会での献金、高校文化祭バザー売り上げの一部が震災支援団体に寄付された。

④ クッキーの送付

家庭科同好会の生徒たちによる200セットの手作りクッキーが、金丸真牧師と金子千嘉世牧師の手を通して、仙台と郡山の仮設住宅で生活する方々に届けられた。

D. 学友会活動の2012年度の主な実績

① 高等学校

「九州大会」

・ハンドボール部：6/15～17(宮崎市、全九州高校体育大会) 女子 27名

*会場への移動中バス事故が発生したため、出場を辞退。

：2/7～10(宮崎市、九州高校選抜大会) 男子 23名

: 8/18～19(浦添市、国体九州ブロック大会)

水町孝太郎・大場唯利可

- ・ヨット部: 6/14～17(長崎市、全九州競技大会女子F J級) 上入来裕子&池浦愛里他2名
- ・弓道部: 7/14～15(熊本市、全九州高校競技大会) 吉村聡馬、今林史佳
- ・陸上部: 6/14～17(佐賀市、全国高校北九州大会) 100MH・400MH 渡邊奈月、110MH 上野佑太、400リレー6名
- : 10/12～14(鹿児島市、全九州新人大会) 110MH優勝上野佑太・400H御堂耕平

「全国大会」

- ・書道部: 8/15(学生書道コンクール) 毎日新聞社賞(全国2位) 磯田愛心
- ・写真部: 7/24～27(北海道東川町、写真甲子園) 準優勝 鶴祐大朗・坂口真衣・山口可鈴
- : 8/10～12(富山県南砺市、全国高総文祭) 小野口太一
- ・ヨット部: 7/30～8/5(七尾市、インターハイ、女子F J級) 上入来裕子&池浦愛里他2名
- : 7/27～8/5(オーストリア、世界選手権JOC420級) 78位原竹優弥
- ・弓道部: 8/1～3(松本市、インターハイ) 8位 今林史佳
- ・陸上部: 7/29～8/3(新潟市、インターハイ) 110MH 上野佑太、100MH・400MH 渡邊奈月

② 中学校

「九州大会」

- ・硬式テニス部: 8/21～22(宮崎市、中体連九州大会) 男子ダブルス(黒田・大塚) 3位
- : 3/27～28(宗像市) 男子団体戦出場

「全国大会」

- ・陸上部: 10/27(横浜市、ジュニアオリンピック) 1年女子走り幅跳び 柴田渚 48位
- : 2/3(大阪市、日本ジュニア室内陸上) 男子60m 金子健太 45位
- ・硬式テニス部: 2/9～11(高松市、全国選抜中学校テニス大会) 男子団体戦出場

(4) 小学校

A. 小学校開校3年目の動き

2012年4月1日現在、教職員27名(専任教員15名、常勤講師1名、非常勤講師4名、専任職員1名、嘱託職員5名、臨時職員1名)を配置し、西南学院小学校が開校3年目を迎えた。4月8日に入学式を行い、1年生70名が入学したことにより、1年生から5年生までの児童総数は349名となった。

B. 教育プログラムの推進

今年度も本校独自の教育プログラムを積極的に展開した。前年度までの反省点を踏まえながら各行事の改善に取り組み、ネイバーキャンプ、ネイチャーキャンプ、スポーツフェスティバルやアSEMBリーなどの縦割教育、春・秋に実施するアートウィークなどの芸術鑑賞、ミッションウィークやクリスマス礼拝などのキリスト教に関する行事など、多様な年間プログラムを実施した。また、西南学院大学の留学生と各年次ごとに交流会を行うなど、ウイングタイムを利用した特別授業も実施した。

C. 転入学試験の実施

入学定員を満たしていない新2,3年生について、転入学試験を実施して児童の充足を行った。各学年に児童1名ずつが転入学したことで、財政面の改善が図られた。

D. 後援会組織の活動

後援会発足3年目を迎え、会員数も増加したことから、後援会からの支援体制がさらに充実したものになった。図書購入費及び学校環境整備費が増額され、図書館の蔵書計画を前倒しして実行できるようになり、校内外の環境整備を更に進めることができた。また、後援会有志のボランティアによる児童の登下校時の見守り活動も継続して実施され、物心両面におけるサポートを受けることで、児童が快適な学校生活を送ることができた。

E. クリスマス献金

児童・保護者から寄せられたクリスマス献金(172,820円)を下記の団体に寄付した。

『ペシャワール会』	72,820円
『東日本大震災義援金』	50,000円(西南学院義援金口に入金)
『九州北部豪雨義援金』	50,000円(八女市災害義援金に振込)

(5) 舞鶴幼稚園

2012年度の主な事業は次のとおり。

① 地域の子育て支援

地域の子育て支援の活動として、「親子であそぼう会」や「育児相談会」を拡大した。西南学院フェア「水と土とあそぼう」には多くの親子の参加があり、大盛況であった。

② 「子ども・子育て新システム」への対応

子ども子育て関連三法は成立したが、行政側が今後どのように進めていくかははっきりしていないため、動向に注意しながら園としての対応を考えていく。

③ 保育の質向上

保育の質の向上のため、西南学院大学人間科学部児童教育学科教員の助言を受けながら園内研究会を重ね、また独自のカリキュラム作成に取り組んでいる。

④ 早緑子供の園との連携

早緑子供の園との保育の交流は持てているが、様々な課題を一緒に検討するところまでは至っていない。

⑤ 施設管理

2011年度に行われた施設点検に基づき、順次、緊急を要する箇所や可能な箇所から修理を進めてきた。

⑥ 創立100周年記念事業

創立100周年記念行事について、記念講演会、記念式典、祝賀パーティ、記念誌作成、記念品選定など計画的に準備を行っている。

⑦ キリスト教保育の浸透

花の日礼拝、運動会、クリスマス礼拝、卒業礼拝などの行事を通して、保護者のキリスト教保育への理解が深まった。また、週一度の父母礼拝を鳥飼教会で守ることで、教会が身近なものと感じられるようになったとの感想を頂いた。

(6) 早緑子供の園

西南学院の保育所として、キリスト教を柱に一人ひとりを大切にする保育の実現を目指し、日々の保育に励んできた。年々園児の保育時間が長時間化している中にあり保育現場も多忙化しているが、保育士・栄養士とも専門性を高めることに努め、集団の中の個人を尊重しながら日々の保育を進めている。

A. 保育内容の充実

現代の保育所事情や社会情勢を鑑み、子どもの育ちを最大限に保障するためのクラス編成について、他園の見学も含め園内で研修を重ね、2013年度からの実施準備を行った。また、外部講師を招いての園内研究会を積極的に行った。併せて、保育課程の再編・保育帳簿の様式変更も行った。

B. 西南学院大学との連携・保育者養成施設としての役割

西南学院大学人間科学部児童教育学科の学生が講義や卒論研究で園を訪れる機会が増えると共に、社会福祉学科の保育実習も受け入れ、保育者養成機関として学院とのつながりを深めることができた。また、他の養成校からの依頼で、新設園への採用予定者の保育実習や、他の保育所が園の研修事業として行う早緑での保育実習を受け入れた。諸外国からの見学も数件あった。このような機会を、園の保育士が保育そのものや保育技術を語る力をつけるとともに、保育実習を自らの保育を省察する機会として今後も捉えていきたい。

C. 地域への貢献

地域からの要望も強く、保育園で遊ぼう会や育児相談会などの子育て支援行事の回数を増やし平日にも行った。また、育児サークルでの出張講義など園の保育士の経験知を活かして地域へ貢献する機会も増えてきた。一方、社会問題となっている待機児童については、在園児が常時定員を大幅に超えている状態であるため、新規の受け入れ人数を増やすことができず、さらに増大している。また、園も入所希望者の対応に追われており、学院教職員の子息の入園も認められない例も多く、継続の課題である(2012年度17名在園)。

D. 施設の充実

2012年度に行った施設・設備の総点検をもとに、順次修繕工事に取り掛かった。今後も計画的に進めていく。また、建築時より園児数増・保育時間の長時間化も顕著であるため、実情に応じた整備が必要となっており、修繕とあわせて改修工事の計画立案を始めた。

E. 新しい保育制度について

2015年度より実施予定の新しい保育制度について、行政の動向を確認しながら対応すべく、福岡市保育協会主催の勉強会に積極的に参加した。

2. トピックス

(1) 各学校・園行事 (2012年4月～2013年3月)

	(1) 学院本部・事務局	(2) 大学
4月	・新任教職員オリエンテーション(3日) ・キ学教同盟西南地区協議会総会(20日)	・入学式(2日) ・オリエンテーション(3～5日) ・前期授業開始(学部・大学院:6日、法科大学院:3日)
5月	・学院創立記念式典(15日)	・九州六大学野球春季応援合戦(13日) ・学院創立記念式典(15日) ・留学生別科終了式(18日) ・春季キリスト教フォーカスウィーク(29～31日)
6月	・キ学教同盟総会(8～9日) ・キ学教同盟西南地区中高聖書科研修会(14～15日) ・日本バプテスト連盟事業体懇談会(24日) ・西南学院フェア(30日～8月5日)	
7月	・キ学教同盟大学部会研究集会(27～29日)	・入試説明会(2～7日) ・前期試験(学部:27日～8月6日、 法科大学院:25日～8月6日)
8月	・キ学教同盟西南地区校長会(2日) ・キ学教同盟西南地区新任教師オリエンテーション(2日) ・キ学教同盟西南地区夏期学校(2～3日) ・キ学教同盟西南地区事務職員研修会(23～24日) ・職員夏期修養会(21～22日)	・オープンキャンパス(西南学院フェア)(4～5日) ・夏季休暇(学部・大学院・法科大学院:6日～9月13日) ・留学生別科入学式(23日) ・法科大学院入試(法学未修者試験・法学既修者試験)(25～26日)
9月	・キ学教同盟西南地区大学部会研究会(12～13日)	・大学院秋期入試(1日) ・教職員懇談協議会(13日) ・後期授業開始(学部・大学院:14日、法科大学院:14日) ・地区別修学懇談会(23、30日) ・前期卒業証書・学位記授与式(26日) ・ホームカミングデー(29日)
10月	・伝道者養成に関する協議会(10日)	・地区別修学懇談会(6日) ・3年次転・編入等、帰国生入試(20日)
11月	・キ学教同盟西南地区事務長会(5～6日) ・日本バプテスト連盟定期総会(7～9日) ・キ学教同盟全国学校代表者協議会(10日)	・各種推薦等、2年次転・編入、外国人入試(3、8～9日) ・大学祭(8～11日) ・秋季キリスト教フォーカスウィーク(27～29日)
12月	・西南学院教職員クリスマス(12日) ・西南学院コミュニティクリスマス(21日)	・大学院オープンキャンパス(1日) ・キャンドルサービス(20日) ・冬季休暇(学部・大学院・法科大学院:22日～1月6日)
1月	・キ学教同盟西南地区校長会(18日)	・大学入試センター試験(19～20日) ・後期試験(学部:22～30日、法科大学院:23日～2月8日)
2月		・一般入試(5～8日) ・一般入試、センター試験利用入試(前期)(21日) ・大学院春期入試(23、25日) ・法科大学院入試(法学既修者試験)(9～10日)
3月		・西南ファカルティリトリート(6日) ・センター試験利用入試(後期)合格者発表(12日) ・卒業礼拝、卒業証書・学位記授与式(21日)

※キ学教：キリスト教学校教育同盟

	(3) 高等学校	(4) 中学校
4月	<ul style="list-style-type: none"> 入学式(7日) 始業式(9日) 新入生オリエンテーション(10～11日) 	<ul style="list-style-type: none"> 入学式(7日) 始業式(9日) 1年学院紹介オリエンテーション(11日) 2年集団生活(25～27日)
5月	<ul style="list-style-type: none"> 後援会総会(12日) 学院創立記念式典(15日) 中間考査(17～21日) 前期ミッションウィーク(23～25日) 	<ul style="list-style-type: none"> 学院創立記念式典(15日) 中間考査(17～18日) 前期ミッションウィーク(21～22日) 人権同和授業(21日) 後援会総会(24日)
6月	<ul style="list-style-type: none"> 人権同和特設授業(6～8日) 期末考査(22～27日) 教員聖書研究会(29日) 	<ul style="list-style-type: none"> クラスマッチ(1日) 期末考査(25～27日) 教員聖書研究会(29日)
7月	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭(西南学院フェア)(13～14日) 終業式(19日) 前期補習(20～30日) 訪豪研修旅行(31日～8月12日) 	<ul style="list-style-type: none"> 中体連開会式(14日) 終業式(19日)
8月	<ul style="list-style-type: none"> 韓国への旅(3～6日) 後期補習(17～27日) 夏季教員研修会(28日) 	<ul style="list-style-type: none"> 韓国への旅(3～6日) 夏季補習(17～24日) 夏季教員研修会(28日)
9月	<ul style="list-style-type: none"> 始業式(3日) スポーツフェスティバル(5～7日) 	<ul style="list-style-type: none"> 始業式(3日) 体育大会(17日)
10月	<ul style="list-style-type: none"> 中間考査(3～5日) 2年生林間学校(15～19日) 1年・3年遠足(19日) 	<ul style="list-style-type: none"> 中間考査(3～4日) 学年別遠足(5日) 同和特設授業(17日)
11月	<ul style="list-style-type: none"> 後期ミッションウィーク(14～16日) クリスマスツリー点灯式(21日) 期末考査(29日～12月4日) 	<ul style="list-style-type: none"> 合唱発表会(2日) 後期ミッションウィーク(5～7日) クリスマスツリー点灯式(21日) 期末考査(28～30日)
12月	<ul style="list-style-type: none"> フェアウェルパーティ(18日) クリスマス礼拝(19・20日) 終業式(21日) 	<ul style="list-style-type: none"> クリスマス礼拝(11日) 終業式(21日)
1月	<ul style="list-style-type: none"> 始業式(8日) 専願入学試験(22日) 専願入試合格発表(24日) 教員聖書研究会(24日) 	<ul style="list-style-type: none"> 始業式(8日) 入学試験(16日) 合格発表(18日) 教員聖書研究会(24日)
2月	<ul style="list-style-type: none"> 前期入学試験(1日) 前期入試合格発表(5日) 後期入学試験(9日) 後期入試合格発表(13日) 期末考査(25日～3月1日) 	<ul style="list-style-type: none"> 3年修学旅行(6～8日) 入試説明会(16日) 期末考査(22～26日)
3月	<ul style="list-style-type: none"> 卒業礼拝(1日) 卒業式(2日) 訪米研修旅行(20～31日) 終業式(21日) 入学説明会(22日) 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業礼拝(12日) 修了式(15日) 終業式(21日)

	(5) 小 学 校	(6) 舞 鶴 幼 稚 園
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式(5日) ・イースターチャペル(6日) ・入学式(9日) ・アチーブメントテスト(19日) ・ウェルカムアセンブリ(20日) ・懇談会(21日) ・防犯教室(24日) ・ホームアセンブリ(25日) ・ウェルカムピクニック(27日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・始園式(10日) ・入園式(12日) ・家庭訪問(13日～) ・教会学校開始(16日) ・イースター礼拝(16日) ・預かり保育開始(16日) ・母の会総会(27日)
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練(10日) ・学院創立記念式典(15日) ・学習参観(17日) ・ミッションウィーク(24～25日) ・春のアートウィーク(29日～6月8日) ・ネイバーキャンプ(1・2年)(31日～6月1日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室(8日) ・未就園児保育開始(10日) ・父母礼拝開始(全22回)(11日) ・光組社会見学(11日) ・防災訓練(12日) ・父親参加の会(13日) ・学院創立記念式典(15日) ・親子であそぼう会(全7回)(16日) ・ミニ講演会、育児相談(17日) ・歓迎遠足(24日)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・後援会総会(6日) ・花の日チャペル(感謝訪問)(7日) ・音楽観賞会(12日) ・ネーチャーキャンプ(3・4年)(14～15日) ・個人懇談(20～27日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・光組社会見学(1日) ・花の日礼拝(4日) ・歯科検診(7～8日) ・ミニ講演会、育児相談(12、28日)
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開・説明会(7日) ・平和学習(26日) ・終業式(27日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・光組社会見学(3日) ・夏まつり(8日) ・1学期終業(19日) ・水と土とあそぼう(西南学院フェア)(20日)
8月		<ul style="list-style-type: none"> ・大人同窓会(創立100周年に向けて)(4日) ・夏期保育(23～27日) ・光組合宿保育(28～30日)
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式(3日) ・夏休み作品展(5～12日) ・入試説明会(8日) ・ヒストリーツアー(5年)(26～28日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期始業(5日) ・未就園児対象どろんこあそび(12日) ・ミニ講演会、育児相談(13日) ・光組社会見学(14日)
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツフェスティバル(13日) ・避難訓練(18日) ・ミッションウィーク(24～25日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会(6日) ・新年度入園募集説明会(11日) ・月組お泊り保育(25～26日)
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・サンクスギビングチャペル(2日) ・グループアセンブリ(6日) ・入学試験(16～17日) ・合格発表(26日) ・クリスマスツリー点灯式(26日) ・舞台芸術観賞会(29日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新入園児願書受付(1日) ・光組社会見学(1日) ・新入園児面接(2日) ・感謝祭礼拝(5日) ・みかん狩り遠足(6、8日) ・避難訓練(14日) ・未就園児クラス募集説明会(21日) ・子育て講演会(22日) ・クリスマス礼拝(30日)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・秋のアートウィーク(4～11日) ・学習参観・懇談会(8日) ・クリスマスチャペル(20日) ・終業式(21日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス祝会(15日) ・もちつき大会(18日) ・2学期終了(19日)
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式(8日) ・アチーブメントテスト(16日) ・新1年生入学説明会(26日) ・ブレインオリンピック(31日～2月1日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期始業(8日) ・観劇会(18日) ・避難訓練(22日)
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・冬のアートウィーク(12～18日) ・学習発表会(15日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・春をよぶ会(14、21、27日) ・光組社会見学(21日) ・母の会総会(22日)
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・学習参観・懇談会(6～7日) ・修了式(22日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業礼拝(3日) ・卒業式(16日) ・終業式(19日) ・カリキュラム研究会(21～22日) ・新入園児健康診断(22日) ・子ども同窓会(23日)

(7) 早 緑 子 供 の 園	
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・入園式(2日) ・イースター礼拝(16日) ・保護者懇談会(22日) ・年長児社会見学(27日)
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園で遊ぼう会1(12日) ・学院創立記念式典(15日) ・保護者会総会(19日) ・親子遠足(19日) ・春季総合健診(22日)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・花の日礼拝(4日) ・育児講座「子どもの心・子どもの世界」(23日) ・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝(26日) ・田尻グリーンフィールド田植え体験会(27日) ・乳児クラス保育参観(22日より11月まで全6回) ・幼児クラス保育体験会(11、18、25日)
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科検診(2日) ・保育園で遊ぼう会(西南学院フェア)(7日) ・さみどりこどもまつり(西南学院フェア)(7日) ・プールびらき(18日) ・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝(24日) ・小中学生の集い(24、31日)
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生ふれあい事業(7～9日) ・小中学生の集い(7日) ・お泊り保育説明会(24日)
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・お泊り保育(7～8日) ・保育園で遊ぼう会(15日) ・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝(25日) ・中学生職場体験(26～27日) ・卒園記念製作(やきものづくり)(28日)
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・秋季総合健診(2日) ・年長児社会見学(3日) ・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝(15日) ・運動会(20日) ・幼児クラス遠足(31日)
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度入所申し込み書配布開始(1日) ・感謝祭礼拝(5日) ・西南学院小学校訪問(7日) ・保育園で遊ぼう会(10日) ・入園説明会(10日) ・南当仁小学校交流授業(14日) ・保護者会奉仕活動(17日) ・おにぎりパーティー(17日) ・アドヴェント礼拝・ツリー点灯式(26日) ・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝(27日)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスクッキー作り(5日) ・こひつじクリスマス(8日) ・さみどりクリスマス(22日) ・クリスマスメッセージ(22日)
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度入所申込書受付開始(4日) ・保育園で遊ぼう会小学生同窓会(12日) ・入園説明会(12日) ・観劇(18日) ・小学生同窓会(19日) ・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝(22日) ・鳥飼小学校交流授業(24日)
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・就学相談会(8日) ・保育園で遊ぼう会(12日) ・育児講座(16日) ・新年度入所児発表、面接(23日) ・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝(25日) ・年長児院長室訪問(28日)
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・卒園礼拝(5日) ・保護者懇談会(8日) ・お別れ会(12日) ・お別れ遠足(13日) ・卒園式(23日)

(2) 認可・認定・届出

- ・ 学校法人西南学院寄附行為変更認可

申請年月日 : 2012(平成24)年10月9日

認可年月日 : 2012(平成24)年11月13日

変更内容 : 副学長(教育・研究担当)の理事及び評議員就任に伴う寄附行為変更

(3) 名誉顧問・名誉教授・名誉博士

2013(平成25)年3月31日現在

名誉顧問

氏 名	授与年月	氏 名	授与年月
伊藤 隆夫	2003. 3	寺園 喜基	2013. 3
L. K. シー ト	2004. 4		

名誉教授

氏 名	授与年月	氏 名	授与年月
ヴェラ L. キャンベルーガラット	1980. 4	中村 栄子	2002. 4
ロバート H. カルベッパ	1980. 4	八田 正光	2002. 4
ジョン W. シェパード	1983. 10	山口 稲生	2002. 4
中川 ノブ	1987. 4	川島 信義	2002. 4
山崎 剛	1993. 4	太田 和男	2003. 4
井上 康男	1993. 4	山崎 勇視	2004. 4
杉原 実	1993. 4	西嶋 幸右	2004. 4
唐木 田芳文	1994. 4	山中 耕作	2004. 4
堤 克彦	1994. 10	L. K. シー ト	2004. 10
中尾 英俊	1995. 4	ハーシェル C. ジョンソン	2004. 10
大内 和臣	1995. 4	古川 暢朗	2005. 4
尾崎 恵子	1996. 4	堺 太郎	2005. 4
岡本 幸雄	1996. 4	片岡 章	2006. 4
後藤 泰二	1996. 4	小森 俊介	2007. 4
関谷 定夫	1996. 4	古川 卓萬	2007. 4
泉 マス子	1997. 4	斉藤 末弘	2007. 4
ヒュー H. ヤング	1997. 4	村上 隆太	2008. 4
中村 清	1997. 4	戸星 善宏	2008. 4
安徳 典光	1999. 4	吾郷 健二	2010. 4
平野 正	1999. 4	大濱 順彦	2010. 4
河野 信子	1999. 4	井口 正俊	2010. 4
屋宜 和夫	1999. 4	堤 啓次郎	2010. 4
古澤 嘉生	2000. 4	森 泰男	2011. 4
田代 義範	2000. 4	小林 洋一	2012. 4
上野 武	2000. 4	安河内 英光	2012. 4
原田 三喜雄	2001. 4	新谷 正彦	2012. 4
佐渡 谷重信	2002. 4	前田 芳人	2012. 4
八木 幹	2002. 4	河島 幸夫	2012. 4

名誉博士

氏 名	授与年月	氏 名	授与年月
クリフォード J. クレーベン	1977. 3	J. ゴードン キングスレー	1989. 11
ジェイムズ E. ウッド	1983. 5	ハーバート H. レイノルズ	1990. 12

2012(平成24)年度中の異動

名誉教授 岩城富美子氏は2012(平成24)年4月19日逝去

名誉教授 真鍋誠氏は2013(平成25)年2月20日逝去

(4) 学位授与

2013(平成25)年3月31日現在

報告番号	博士の専攻分野の名称	授与年月日	論文審査終了年月日
甲第20号	博士(経営学)	平成24年6月28日	平成24年5月23日
甲第21号	博士(文学)	平成25年3月21日	平成25年1月26日
甲第22号	博士(人間科学)	平成25年3月21日	平成24年12月14日
甲第23号	博士(国際文化)	平成25年3月21日	平成25年2月4日
甲第24号	博士(国際文化)	平成25年3月21日	平成25年2月18日

3. データ

(1) 学生・生徒・児童・園児数

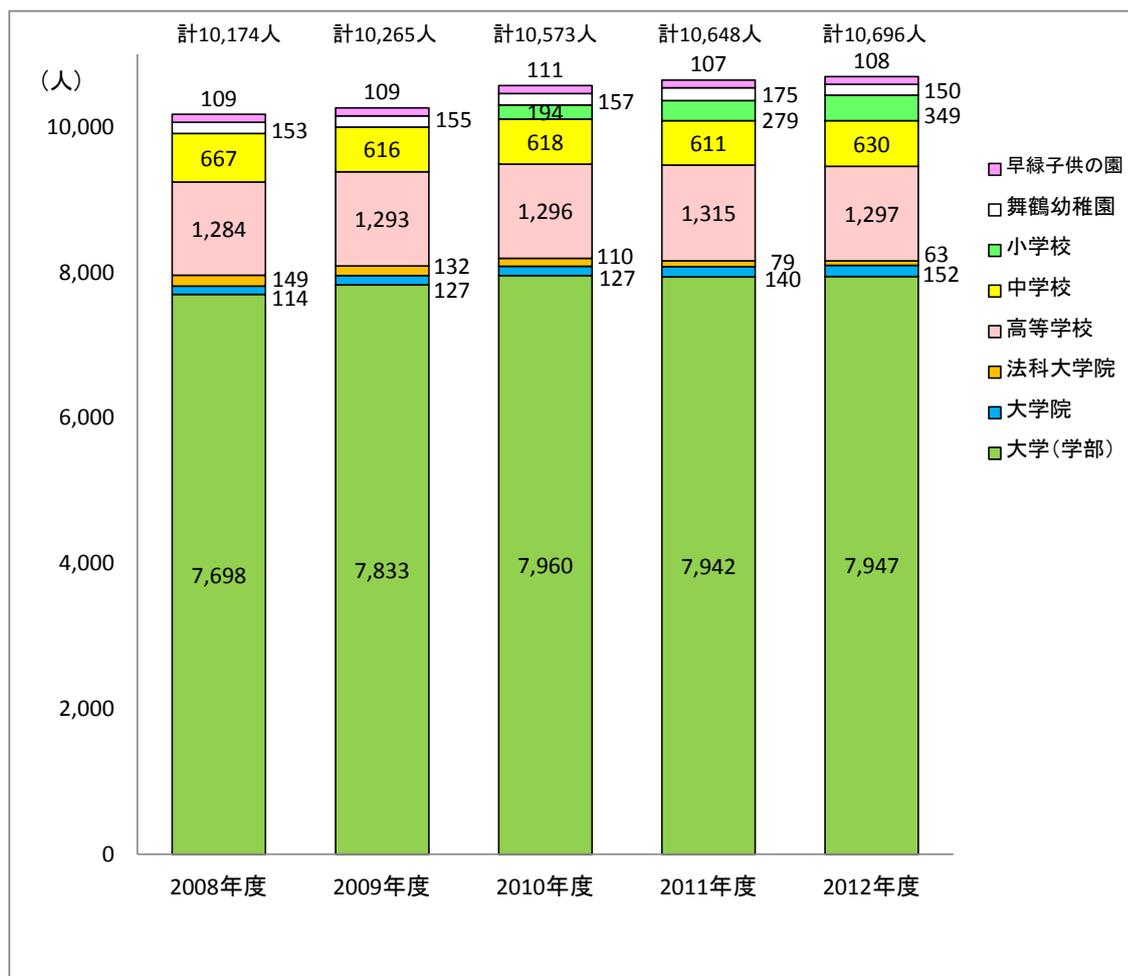
2012(平成24)年5月1日現在

学 校 ・ 学 部 ・ 学 科 等				収 容 定 員	入 学 者	総 数
大	神 学 部	神 学 科		40	16	53
	文 学 部	英 文 学 科		400	123	487
		外国語学科	英 語 専 攻	400	112	486
			フ ラ ン ス 語 専 攻	200	57	234
	商 学 部	商 学 科		600	167	731
		経 営 学 科		600	162	763
	経 済 学 部	経 済 学 科		800	243	997
		国 際 経 済 学 科		400	100	482
	法 学 部	法 律 学 科		1,080	324	1,317
		国 際 関 係 法 学 科		320	88	412
	人 間 科 学 部	児 童 教 育 学 科		400	113	464
		社 会 福 祉 学 科		600	115	651
		心 理 学 科		100	137	137
	国 際 文 化 学 部	国 際 文 化 学 科		600	172	733
(小 計)				6,540	1,929	7,947
学	法 学 研 究 科	法 律 学 専 攻	博 士 前 期	20	2	4
			博 士 後 期	9	0	3
	経 営 学 研 究 科	経 営 学 専 攻	博 士 前 期	20	11	26
			博 士 後 期	9	1	3
	文 学 研 究 科	英 文 学 専 攻	博 士 前 期	20	6	10
			博 士 後 期	9	0	4
		フ ラ ン ス 文 学 専 攻	博 士 前 期	10	1	5
			博 士 後 期	9	1	2
	経 済 学 研 究 科	経 済 学 専 攻	博 士 前 期	14	1	6
			博 士 後 期	9	0	0
	神 学 研 究 科	神 学 専 攻	博 士 前 期	14	7	15
			博 士 後 期	6	0	1
	人 間 科 学 研 究 科	人 間 科 学 専 攻	博 士 前 期	20	10	19
			博 士 後 期	9	2	8
国 際 文 化 研 究 科	国 際 文 化 専 攻	博 士 前 期	20	12	29	
		博 士 後 期	9	3	17	
(小 計)				207	57	152
大 学 院 法 務 研 究 科 (法 科 大 学 院)			専 門 職 学 位	105	17	63
専 攻 科	神 ・ 商 ・ 経 済			30	0	1
選 科 生	神 学 部			若 干 名	0	2
留 学 生 別 科				30	56	46
〔 大 学 計 〕				6,912	2,059	8,211
高 等 学 校				1,350	412	1,297
中 学 校				600	214	630
小 学 校				350	70	349
舞 鶴 幼 稚 園				160	45	150
早 緑 子 供 の 園				90	16	108
〔 合 計 〕				9,462	2,816	10,745

注：大学学部の入学者数は1年次入試のみ。
 小学校の入学者数は1年生のみ。

学生・生徒・児童・園児数の推移

各年度 5月1日現在



※大学専攻科、選科生、留学生別科の学生数は含まない。

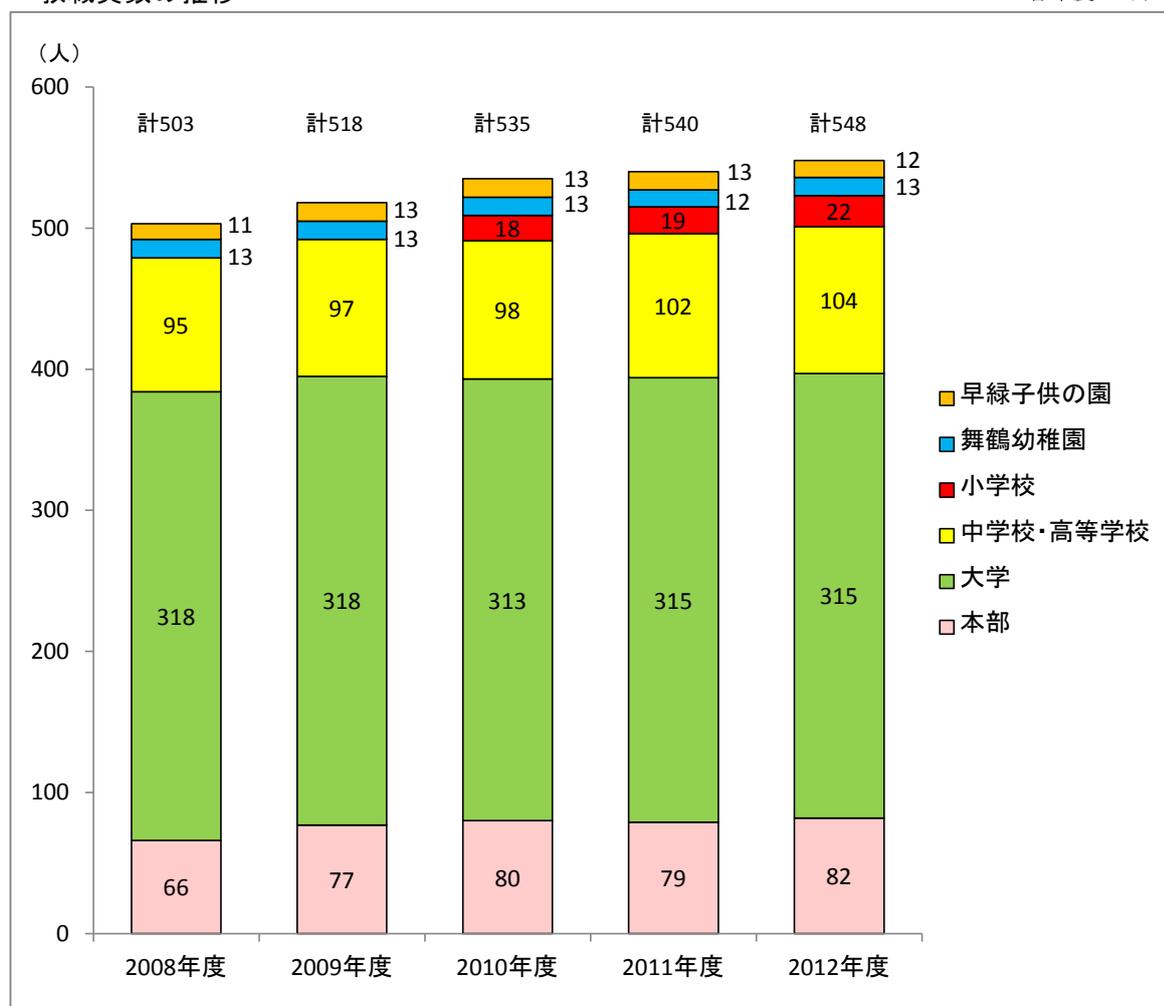
(2) 教職員数

2012(平成24)年5月1日現在

学 校 等	専任教員	特別教員	実務家教員 (法科大学院)	常勤講師 (外国語教員 含む)	特任教員 (保育士含む)	専任職員	嘱託職員	計
本 部	-	-	-	-	-	68	14	82
大 学	185	7	6	5	-	87	25	315
高等学校	49	-	-	7	-	12	11	104
中 学 校	23	-	-	2	-			
小 学 校	15	-	-	1	-	1	5	22
舞鶴幼稚園	9	-	-	-	3	-	1	13
早緑子供の園	8	-	-	-	1	-	3	12
合計	289	7	6	15	4	168	59	548

教職員数の推移

各年度 5月1日現在



(3) 入学試験日程

2013(平成25)年度入学試験日程

入学試験等		願書受付期間	試験日	合格者発表等	
大	推薦	指定校	2012(平成24)年10月 9日(火) ～10月19日(金)	11月 3日(土)	11月15日(木)
		独自指定校 (神・フランス専・商・法・児教・福祉・国文)			
		西南女学院高校			
		西南学院高校	11月 3日(土) 筆記 11月 9日(金) 面接		
		公募制 (英文・フランス専・商・経済・法)	2012(平成24)年10月15日(月) ～10月26日(金)	11月 8日(木)	
	A O選抜入試(英専)		2012(平成24)年 9月18日(火) ～ 9月28日(金)	10月20日(土)	10月25日(木)
	指定校選抜入試 (英専)		2012(平成24)年10月15日(月) ～10月26日(金)	11月 8日(木)	11月15日(木)
	一般	文学部	2013(平成25)年 1月 4日(金) ～ 1月22日(火)	2月 5日(火)	2月21日(木)
		法学部		2月 6日(水)	
		神学部		2月 7日(木)	
		経済学部		2月 8日(金)	
		人間科学部		2月 9日(土)	
	一般・センター併用型入試		2013(平成25)年 1月 4日(金) ～ 1月18日(金)	一般入試及びセンター試験を受験	
	大学入試センター試験利用入試 (前期)			1月19日(土) ～1月20日(日)	3月12日(火)
大学入試センター試験利用入試 (後期)		2013(平成25)年 2月15日(金) ～ 3月 1日(金)			
3年次転・編入等 帰国生		2012(平成24)年 9月18日(火) ～ 9月28日(金)	10月20日(土)	10月25日(木)	
2年次転・編入 外国人		2012(平成24)年 9月24日(月) ～10月 5日(金)	11月9日(金)	11月15日(木)	
大学院	博士前期 (法学研究科 経営学研究科 文学研究科 経済学研究科 神学研究科 人間科学研究科 国際文化研究科)	秋期	一般・外国人等(国内居住者)及び社会人 2012(平成24)年 7月11日(水) ～ 7月20日(金)	9月 1日(土)	9月 5日(水)
		春期	一般・外国人等(国内居住者)及び社会人 2013(平成25)年 1月9日(水) ～ 1月18日(金)	2月23日(土)	3月 1日(金)
	※飛び級	2013(平成25)年 2月 1日(金) ～ 2月 8日(金)			
	外国人等(国外居住者)	2012(平成24)年10月 5日(金) ～11月 9日(金)			
	博士後期 (法学研究科 経営学研究科 文学研究科 経済学研究科 神学研究科 人間科学研究科 国際文化研究科)	春期	一般及び外国人等(国内居住者) 2013(平成25)年 1月 9日(水) ～ 1月18日(金)	2月25日(月)	
	外国人等(国外居住者)	2012(平成24)年10月 5日(金) ～11月 9日(金)			

入学試験等		願書受付期間	試験日	合格者発表等	
大学院	大 学 院	専門職学位 法務研究科(法科大学院)	法学未修者及び法学既修者 (8月試験) 2012(平成24)年 7月23日(月) ～ 8月 6日(月)	法学未修者 8月25日(土) 小論文 法学既修者 8月25日(土) 憲法、刑法 8月26日(日) 民法、商法	9月12日(水)
			法学未修者(適性第4部利用試験) 2012(平成24)年9月14日(金) ～9月24日(月)		10月 9日(火)
			法学未修者及び法学既修者 (2月試験) 2013(平成25)年 1月11日(金) ～ 1月25日(金)	法学未修者 2月 9日(土) 小論文 法学既修者 2月 9日(土) 憲法、刑法 2月10日(日) 民法、商法	2月26日(火)
			2013(平成25)年1月16日(水) ～1月18日(金)	1月22日(火)	1月24日(木)
			2013(平成25)年1月24日(木) ～1月30日(水)	2月 1日(金)	2月 5日(火)
			2013(平成25)年2月 5日(火) ～2月 8日(金)	2月 9日(土)	2月14日(木)
中 学 校		2012(平成24)年12月17日(月) ～2013(平成24)年 1月7日(月)	1月16日(水)	1月18日(金)	
小 学 校		2012(平成23)年 9月10日(月) ～10月 5日(金)	10月26日(金) ～11月9日(金)面接 11月16日(金) 個別適性検査① 11月17日(土) 個別適性検査②及び 集団適性検査	11月26日(月)	
幼 稚 園		2012(平成24)年11月 1日(木)	11月1日(木)、2日(金) 面接	11月2日(金)	

(4) 入学志願者数及び合格・許可者数
2013(平成25)年度入学志願者数・合格者数

学 校 ・ 学 部 ・ 学 科 等				入学定員	入学志願者数		合格者・許可者数		
大 学 院	神 学 部		神 学 科	10	105		24		
	文 学 部	英 文 学 科		100	1,284		423		
		外 国 語 学 科	英 語 専 攻	100	1,427		318		
			フ ラ ン ス 語 専 攻	50	695		227		
	商 学 部	商 学 科		150	2,425		636		
		経 営 学 科		150	1,895		525		
	経 済 学 部	経 済 学 科		200	2,632		919		
		国 際 経 済 学 科		100	1,506		515		
	法 学 部	法 律 学 科		270	2,572		920		
		国 際 関 係 法 学 科		80	486		219		
	人 間 科 学 部	児 童 教 育 学 科		100	1,769		440		
		社 会 福 祉 学 科		110	1,558		542		
		心 理 学 科		100	1,437		371		
	国 際 文 化 学 部	国 際 文 化 学 科		150	1,986		657		
	学 部 計				1,670	21,777		6,736	
	大 学 院	法 学 研 究 科	博 士 前 期	10	秋 期	3	1	2	
				3	春 期	4	1	1	
		博 士 後 期	2		1		1		
			3		18		3		
		経 営 学 研 究 科	博 士 前 期	10	秋 期	11	8	18	
3				春 期	13	10	3		
博 士 後 期		3		3		3			
		3		6		0			
文 学 研 究 科		英 文 学 専 攻	博 士 前 期	10	秋 期	4	3	6	
				3	春 期	3	3	0	
フ ラ ン ス 文 学 専 攻		博 士 前 期	5	秋 期	0	0	1		
			3	春 期	1	1	1		
博 士 後 期		2		1		1			
		3		4		2			
経 済 学 研 究 科		博 士 前 期	7	秋 期	0	0	4		
			3	春 期	4	4	2		
博 士 後 期		2		2		2			
		2		4		0			
神 学 研 究 科	博 士 前 期	7	秋 期	4	3	4			
		2	春 期	1	1	0			
博 士 後 期	1		1		0				
	3		4		1				
人 間 科 学 研 究 科	博 士 前 期	10	秋 期	5	3	4			
		3	春 期	2	1	1			
博 士 後 期	1		1		1				
	3		10		1				
国 際 文 化 研 究 科	博 士 前 期	10	秋 期	6	5	10			
		3	春 期	6	5	1			
博 士 後 期	1		1		1				
	3		1		1				
大 学 院 計				92	79		58		
大 学 院 法 務 研 究 科 (法 科 大 学 院)			専 門 職 学 位	35	82		37		
専 攻 科		神 ・ 商 ・ 経 済		30	1		1		
選 科 生		神 学 部		若 干 名	1		1		
大 学 計				1,827	21,940		6,833		
高 等 学 校				450	1,065		829		
中 学 校				200	1,119		590		
小 学 校				70	160		82		
舞 鶴 幼 稚 園				160	56		49		
早 緑 子 供 の 園				90	57		18		
合 計				2,797	24,397		8,401		

注1. 大学学部の入学志願者数及び合格者数は1年次入試のみ。

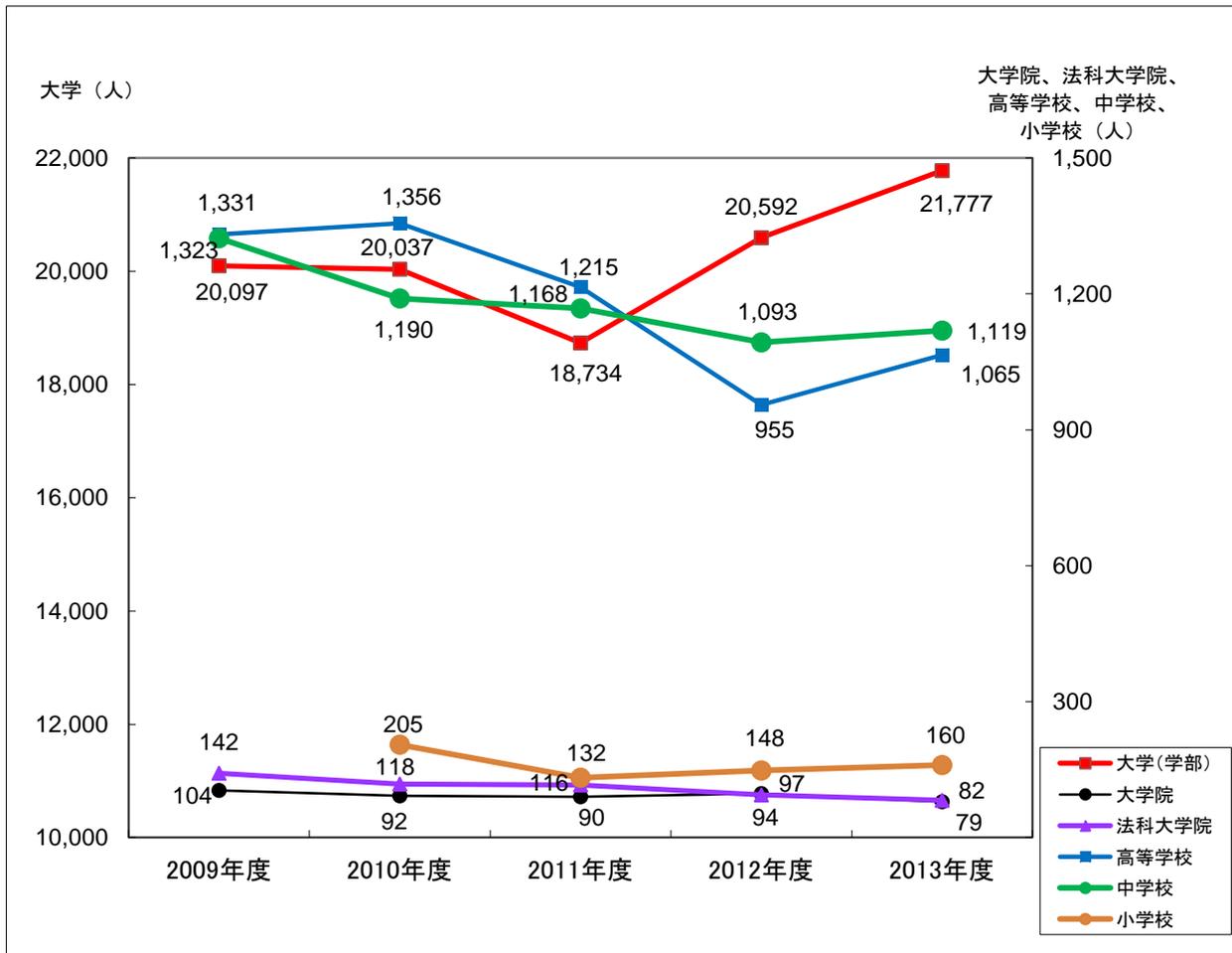
注2. 大学学部については、指定校推薦(志願者197名、合格者197名)、西南高推薦(志願者67名、合格者67名)、各種推薦等入試(志願者358名、合格者286名)、帰国生入試(志願者8名、合格者6名)、外国人入試(志願者6名、合格者3名)を含む。

注3. 留学生別科は除く。

注4. 高等学校の入学志願者数及び合格者数は1年生のみ。

注5. 舞鶴幼稚園及び早緑子供の園の入学定員は収容定員を示す。

入学志願者数の推移



注1. 大学学部の入学志願者数は、1年次入試のみ。

注2. 大学学部については、各種推薦等入試、帰国子女入試、外国人入試の志願者数を含む。

注3. 留学生別科は除く。

注4. 小学校の入学志願者数は、1年生のみ。

(5) 卒業生数

2012(平成24)年度卒業生数

2013(平成25)年3月31日現在

2012(平成24)年度卒業生等				累 計	廃止学校・学部・学科等卒業生累計			
学校・学部・学科等		人 員						
大 学 部	神 学 部	神 学 科	12	406	文 商 学 部	神学専攻	20	
		英 文 学 科	126	6,613		英文学専攻	88	
	文 学 部	外国語学科	英 語 専 攻	110		5,156	商学専攻	473
			フ ラ ン ス 語 専 攻	49	2,409	文 学 部	神 学 科	113
	商 学 部	商 学 科	164	13,361	英 文 学 科		夜 間	78
		経 営 学 科	166	8,871	商 学 部	商 学 科	夜 間	674
	経 済 学 部	経 済 学 科	230	13,931		経 済 学 科		218
		国 際 経 済 学 科	125	2,408	文 学 専 攻 科	神 学 専 攻	53	
	法 学 部	法 律 学 科	295	14,537		英 文 学 専 攻	94	
		国 際 関 係 法 学 科	83	1,550		英 語 専 攻	14	
	人 間 科 学 部	児 童 教 育 学 科	112	4,428	フ ラ ン ス 語 専 攻	11		
		社 会 福 祉 学 科	183	1,594	国 際 文 化 専 攻	21		
	国 際 文 化 学 部	国 際 文 化 学 科	175	4,862	商 学 専 攻 科	経 済 学 専 攻	2	
	(学 部 計)		1,830	80,126		経 営 学 専 攻	7	
大 学 院	博 士 前 期 修 士	法 学 研 究 科	1	224	短 期 大 学 部	英 語 科 第 二 部	324	
		経 営 学 研 究 科	15	247		商 学 科 第 二 部	1,576	
		文 学 研 究 科	英 文 学 専 攻	1		149	児 童 教 育 科	1,598
			フ ラ ン ス 文 学 専 攻	4		59	児 童 専 攻 科	0
		経 済 学 研 究 科	4	87		高 等 学 校	定 時 制	830
		神 学 研 究 科	3	28	早 緑 幼 稚 園		412	
		人 間 科 学 研 究 科	3	31	西 南 聖 書 学 院		41	
		国 際 文 化 研 究 科	11	150	(廃 止 学 校 等 計)		6,647	
	(博 士 前 期 ・ 修 士 計)		42	975				
	博 士 後 期	法 学 研 究 科	0	39	旧 制 学 校 卒 業 生 累 計			
		経 営 学 研 究 科	0	54				
		文 学 研 究 科	英 文 学 専 攻	0	30	中 学 部	本 科	2,283
			フ ラ ン ス 文 学 専 攻	0	17	商 業 学 校	本 科	456
		経 済 学 研 究 科	0	0	工 業 学 校	別 科	4	
神 学 研 究 科		0	1	高 等 学 部				
人 間 科 学 研 究 科	1	5						
国 際 文 化 研 究 科	1	29	経 済 専 門 学 校	英 文 科	566			
(博 士 後 期 計)		2		175	研 究 科	11		
(大 学 院 計)		44	1,150	専 門 学 校 一 部	補 習 科	22		
法 務 研 究 科 (法 科 大 学 院)	16	231	経 済 科		2,223			
専 攻 科	神 学 専 攻 科	神 学 専 攻	1	267		商 科		
	商 学 専 攻 科	商 学 専 攻	0	116	神 学 科 本 科	30		
経 済 学 専 攻 科	経 済 学 専 攻	0	108	神 学 科 選 科	12			
(専 攻 科 計)		1	491	英 文 科	55			
選 科 生	神 学 部	2	92	専 門 学 校 二 部	経 済 科	142		
留 学 生 別 科 (終 了 者)		44	793		実 務 科	159		
《 大 学 計 》		1,937	82,883	専 門 学 校	別 科	271		
高 等 学 校	全 日 制	426	24,372	児 童 教 育 科		4		
中 学 校		214	12,468	婦 人 部 制				
舞 鶴 幼 稚 園		58	5,158	(旧 制 学 校 等 計)		6,238		
早 緑 子 供 の 園		24	850	合 計		12,885		
合 計		2,659	125,731	合 計		138,616		
総 合 計				138,616				

注1. 大学院博士後期課程は、単位修得満期退学者数を示す。

注2. 留学生別科は、2011-2012年度(通年・後期)及び2012-2013年度(前期)の留学生別科終了者数を示す。

(6) 大学卒業生就職状況

2013(平成25)年3月31日現在

A. 就職状況

区 分		神学部	文学部	商学部	経済学部	法学部	人間科学部	国際文化学部	合 計	
卒業生総数		12	280	320	331	364	288	171	1,766	
卒業後の進路	就職者数	自家営業	2	2	1				5	
		自家営業以外	3	202	241	254	212	196	114	1,222
	進学者数	(大学院)	5	6	4	4	13	4	4	40
		(大学院以外)	1	1		1	1		1	5
上記以外		2	35	26	26	44	25	24	182	
就職希望者数		4	215	258	268	253	232	127	1,357	

注1) 就職者数は、正式に「進路報告書」を提出した者および就職課で把握している内定者の合計人数

注2) 進学者数(大学院)は、大学院、法科大学院に進学した者の人数

注3) 進学者数(大学院以外)は、大学学部・学科、専攻科・別科に進学した者の人数

注4) 上記以外は、進学準備者、受験準備者、専修学校等入学者、アルバイト・パート、就職未決定者、進路未報告者等の合計人数

B. 業種別就職状況

区 分	神学部	文学部	商学部	経済学部	法学部	人間科学部	国際文化学部	合 計
農業、林業								
漁業								
鉱業、採石業、砂利採取業								
建設業		4	2	9	4	4	3	26
製造業		16	31	34	21	7	7	116
電気・ガス・熱供給・水道業		1		2				3
情報通信業	1	8	9	18	11	3	9	59
運輸業、郵便業		20	10	15	3	2	5	55
卸売業、小売業		36	52	42	37	24	25	216
金融業、保険業		41	62	66	47	23	23	262
不動産業、物品賃貸業	1	8	13	11	12	6	6	57
学術研究、専門・技術サービス業		3	12	9	9	4	4	41
宿泊業、飲食サービス業		8	4	3	3		3	21
生活関連サービス業、娯楽業		13	15	6	4	4	4	46
教育、学習支援業		16	4	5	4	44	7	80
医療、福祉		8	4	4	10	53	3	82
複合サービス事業			5	7	9	2	3	26
サービス業(他に分類されないもの)	1	18	8	6	3	6	6	48
公務(他に分類されるものを除く)		1	10	17	35	14	6	83
上記以外のもの(自家営業・分類不能の産業)		3	2	1				6
合 計	3	204	243	255	212	196	114	1,227

注1) 業種別就職状況は、正式に「進路報告書」を就職課に提出した者および自家営業の合計人数とし、就職課で把握している内定者は除く。

Ⅲ. 財務の概要

2012(平成24)年度の予算の執行状況について、その資金収支計算、消費収支計算、貸借対照表、財務比率などの推移比較表等は以下のとおりである。

1. 資金収支計算

資金収支総括表

(収入の部)

(単位:百万円)

科目	予算	決算	差異	執行率
学生生徒納付金収入	8,954	8,932	22	100%
手数料収入	520	546	△ 26	105%
寄付金収入	87	91	△ 4	105%
補助金収入	1,105	1,414	△ 309	128%
資産運用収入	261	292	△ 31	112%
資産売却収入	3,500	5,100	△ 1,600	146%
事業収入	248	251	△ 3	101%
雑収入	335	433	△ 98	129%
前受金収入	1,752	1,888	△ 136	108%
その他の収入	3,412	5,249	△ 1,837	154%
資金収入調整勘定	△ 2,122	△ 2,207	85	104%
当年度資金収入合計	18,052	21,989	△ 3,937	122%
前年度繰越支払資金	3,303	3,303		
収入の部合計	21,355	25,292	△ 3,937	

経常費補助金が増加した。

有価証券の償還が行われた。

預り金の受入が増加した。

資金の受入が次年度になるもの、又前年度に資金の受入が済んでいるものを控除している。

(支出の部)

(単位:百万円)

科目	予算	決算	差異	執行率
人件費支出	7,228	7,260	△ 32	100%
教育研究経費支出	2,406	2,107	299	88%
管理経費支出	774	664	110	86%
施設関係支出	301	273	28	91%
設備関係支出	292	258	34	88%
資産運用支出	5,665	5,116	549	90%
その他の支出	2,877	4,464	△ 1,587	155%
予備費	45	45	0	0%
資金支出調整勘定	△ 132	△ 194	62	147%
当年度資金支出合計	19,456	19,948	△ 492	103%
次年度繰越支払資金	1,898	5,345	△ 3,447	
支出の部合計	21,355	25,292	△ 3,937	

物品等の調達や業務委託内容の見直し等の経費節減が定着してきた。

有価証券の運用期間を変更した。

預り金の支出が増加した。

資金の支払が次年度になるもの又、前年度に資金の支払が済んでいるものを控除している。

当年度資金収支差額	△ 1,404	2,041	△ 3,445
-----------	---------	-------	---------

経常的収支計算

(単位:百万円)

科目	予算	決算	差異	執行率
経常的収入(網掛け科目)	11,510	11,959	△ 449	104%
経常的支出(網掛け科目)	10,408	10,031	377	96%
経常的収支差額	1,102	1,928	△ 826	

前年度繰越支払資金より20億4,200万円上回っている。有価証券の償還等により、現金預金有高がその分増加した。

※表中の金額は、いずれも百万円未満を機械的に端数処理しているため、合計等の数値が一致しない場合がある。

2. 消費収支計算

説明は資金収支計算書と異なる部分について行っている。

消費収支総括表

(消費収入の部)

(単位:百万円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒納付金	8,954	8,932	22
手数料	520	546	△ 26
寄付金	87	103	△ 16
補助金	1,105	1,414	△ 309
資産運用収入	261	292	△ 31
事業収入	248	251	△ 3
雑収入	338	435	△ 97
帰属収入合計	11,512	11,974	△ 462
基本金組入額合計	△ 953	△ 1,030	77
消費収入の部合計	10,559	10,945	△ 386

(消費支出の部)

(単位:百万円)

科目	予算	決算	差異
人件費	7,189	7,181	8
教育研究経費	3,557	3,251	306
(内、減価償却費)	1,151	1,143	8
管理経費	926	818	108
(内、減価償却費)	152	154	△ 2
資産処分差額	144	173	△ 29
徴収不能引当金繰入		7	△ 7
予備費	69		69
消費支出の部合計	11,885	11,429	456

貸与奨学金の未償還分に引き当てた。

消費収入決算額が109億4,500万円に対し、消費支出決算額は114億2,900万円で、単年度では4億8,500万円の支出超過となる。

帰属収支差額	△ 373	545	
帰属収支差額比率	△ 3%	5%	
当年度消費収入超過額			
当年度消費支出超過額	1,326	485	
前年度繰越消費収入超過額	594	594	
基本金取崩額	678	680	
翌年度繰越消費収入超過額		789	
翌年度繰越消費支出超過額	54		

当年度支出超過に前年度収入超過と基本金取崩額を加えて7億8,900万円となる。予算額より8億4,300万円好転した。

※帰属収入(119.7億円)の構成比率

学納金(大学)	62.6%
学納金(中高)	9.5%
学納金(小学校)	1.9%
学納金(幼稚園)	0.5%
手数料	4.6%
寄付金	0.9%
補助金	11.8%
資産運用収入	2.4%
資産売却差額	0.0%
事業収入	2.1%
雑収入	3.6%

※消費支出(114.3億円)の構成比率

教員人件費	40.1%
職員人件費	18.8%
役員報酬	0.2%
退職給与引当金繰入額	3.8%
教育研究経費	28.4%
(内減価償却費)	10.0%
管理経費	7.2%
(内減価償却費)	1.3%
資産処分差額	1.5%
徴収不能引当金繰入	0.1%

※表中の金額は、いずれも百万円未満を機械的に端数処理しているため、合計等の数値が一致しない場合がある。

3. 貸借対照表

貸借対照表

資産の部 (単位:百万円)

科 目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	58,386	59,171	△ 785
有形固定資産	39,509	40,424	△ 915
その他の固定資産	18,877	18,747	130
流動資産	6,650	5,364	1,286
合 計	65,036	64,535	501

大学3号館解体に伴い減少した。

有価証券の償還等の増加による。

負債の部、基本金の部、消費収支差額の部

科 目	本年度末	前年度末	増減
負債			
固定負債	3,110	3,276	△ 166
流動負債	2,891	2,769	122
合 計	6,002	6,045	△ 43
基本金	58,245	57,895	350
消費収支差額	789	594	195
合 計	65,036	64,535	501

新たに2号基本金の組入れを行った。

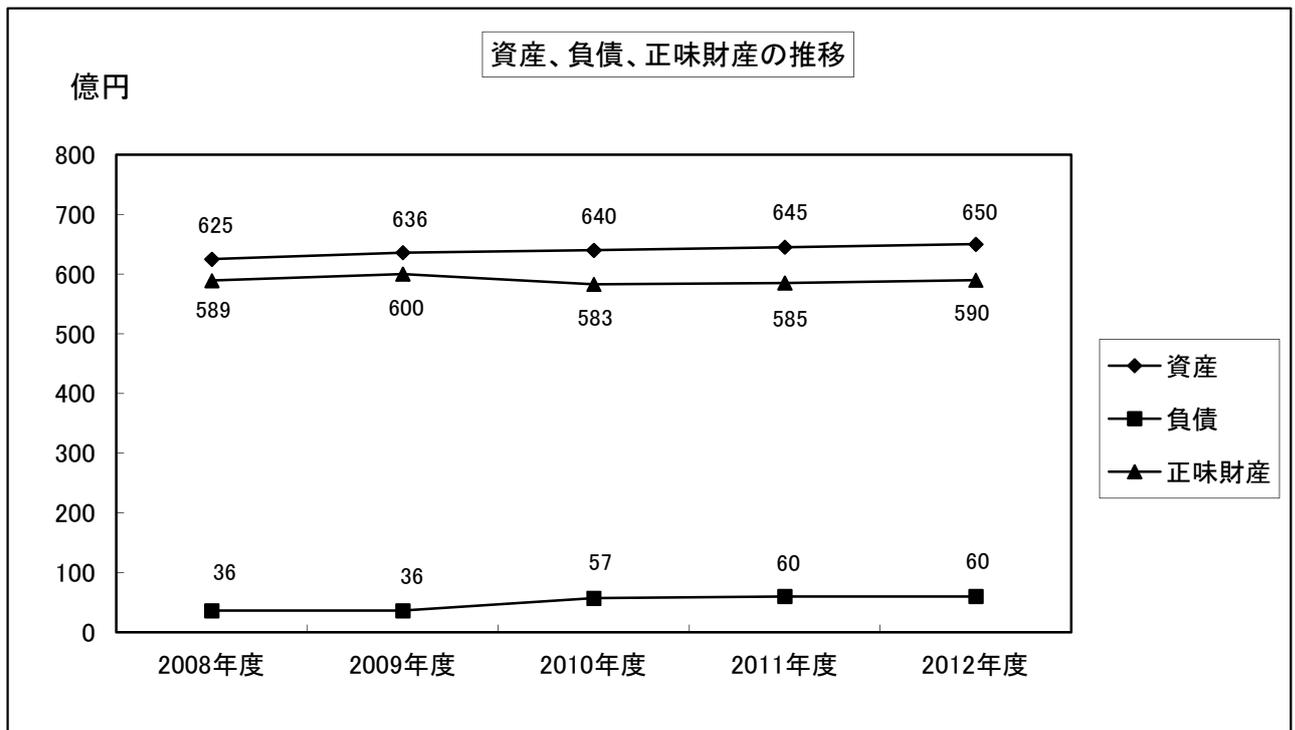
(参考)

正 味 資 産	59,034	58,489	545
---------	--------	--------	-----

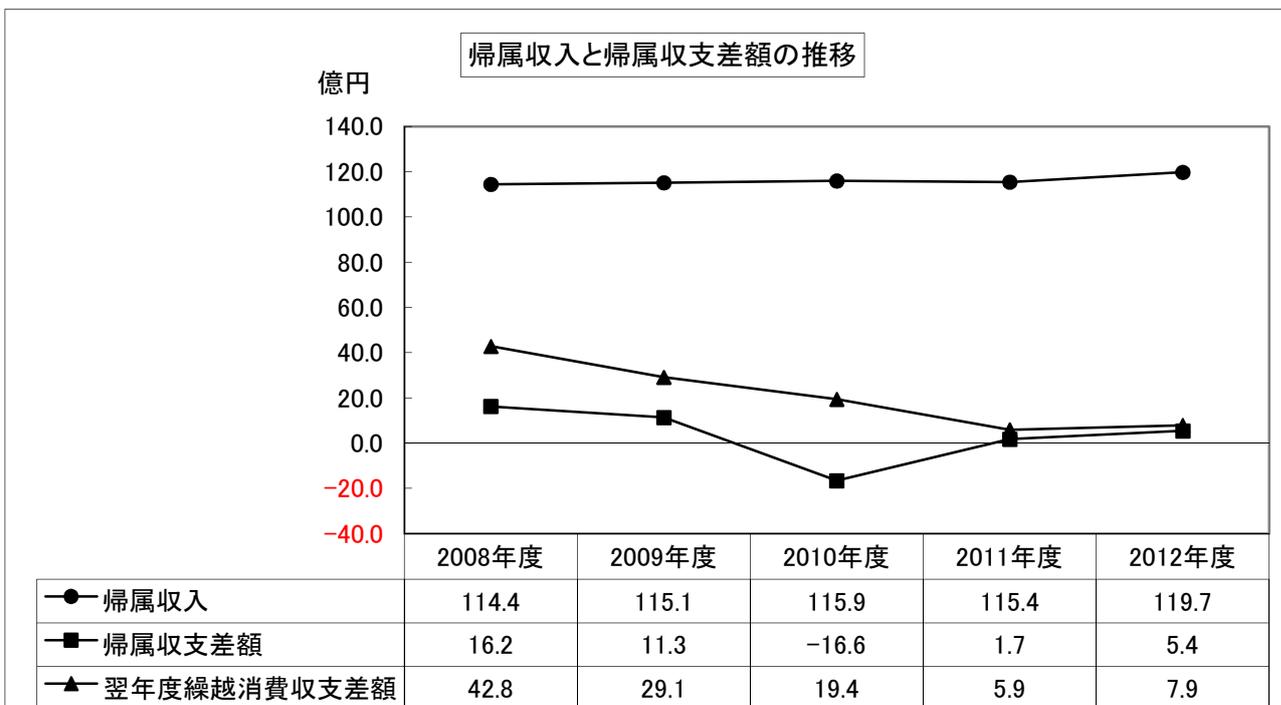
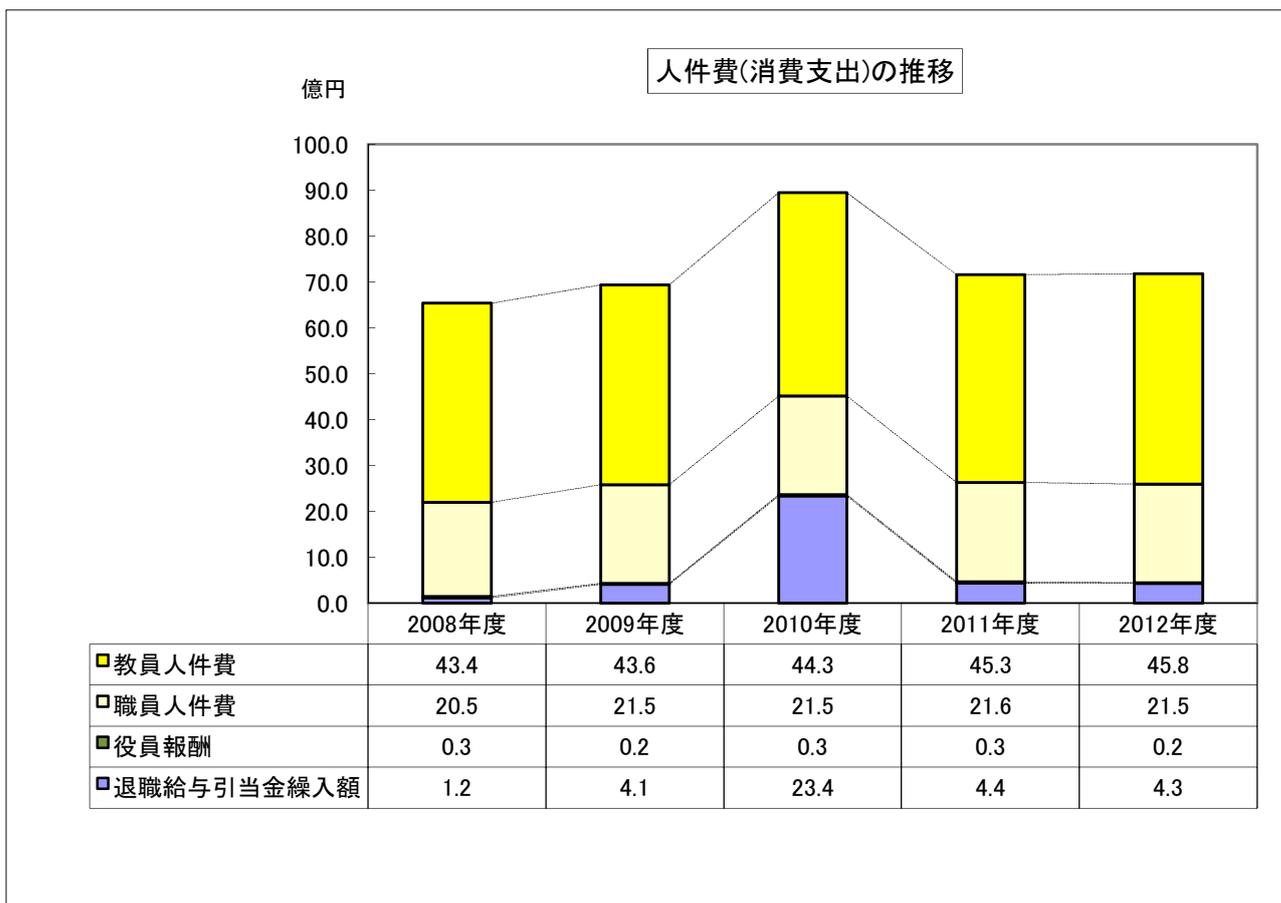
※正味資産=資産-負債 (=基本金+消費収支差額)

減価償却額の累計額	11,223	11,296	△ 73
基本金未組入額	261	336	△ 75

※表中の金額は、いずれも百万円未満を機械的に端数処理しているため、合計等の数値が一致しない場合がある。

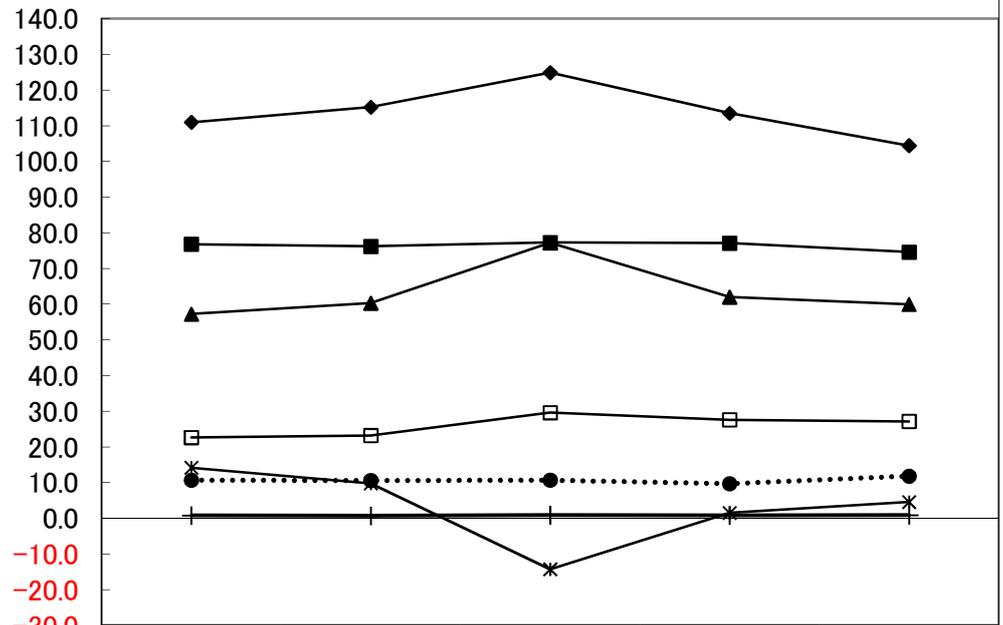


4. 財務比率などの推移



消費収支計算書の財務比率の推移

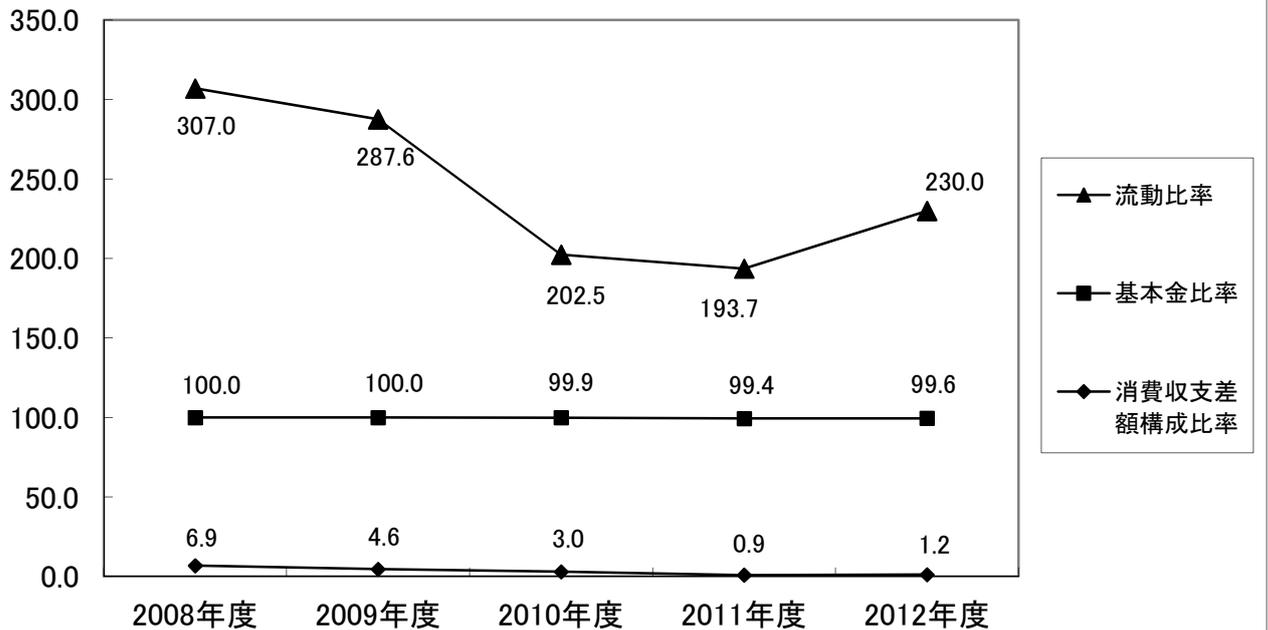
%

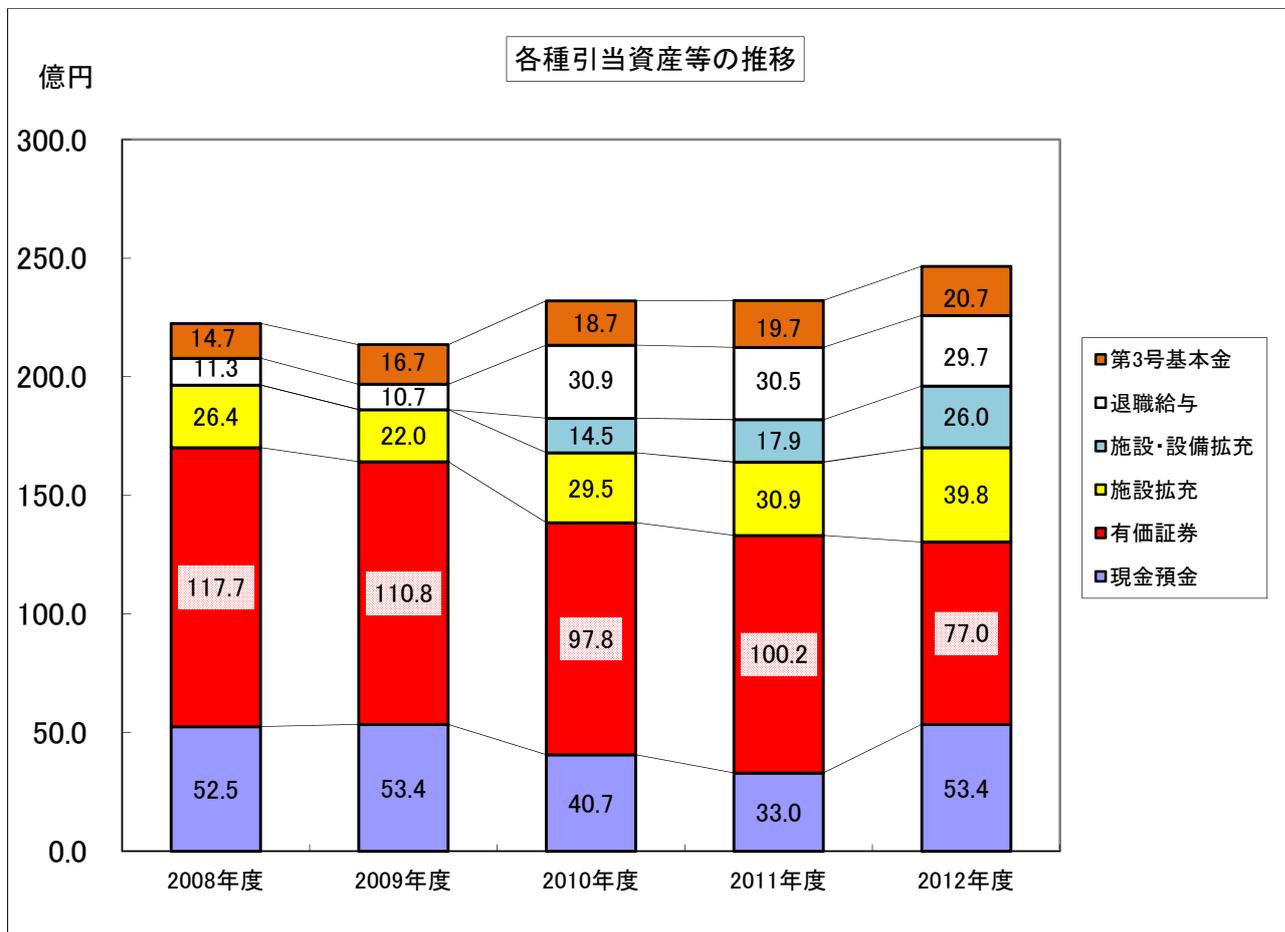
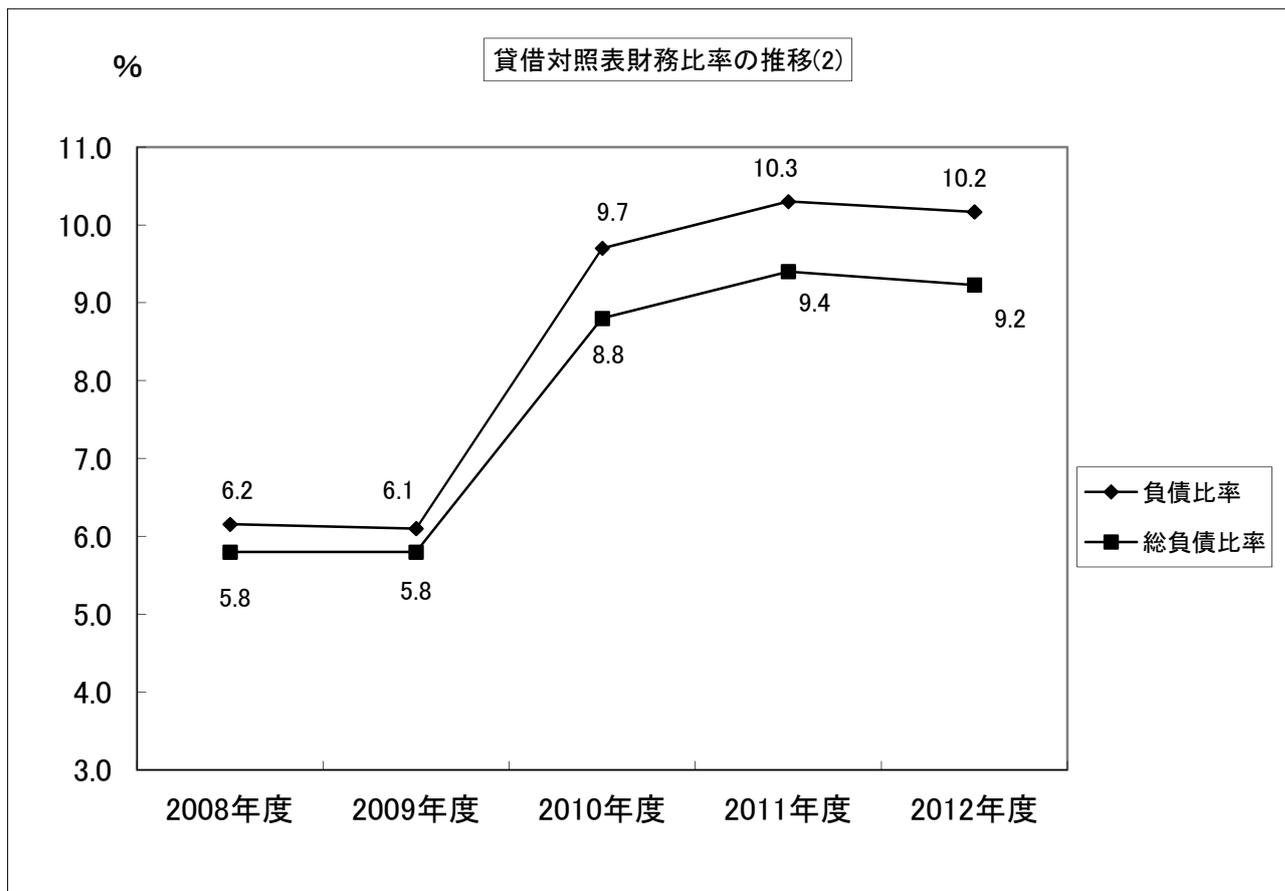


	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
◆ 消費収支比率	111.0	115.2	124.9	113.5	104.4
■ 学生生徒等納付金比率	76.8	76.2	77.3	77.1	74.6
▲ 人件費比率	57.2	60.3	77.2	62.0	60.0
□ 教育研究経費比率	22.6	23.2	29.6	27.6	27.1
* 帰属収支差額比率	14.2	9.8	-14.3	1.5	4.6
●●● 補助金比率	10.7	10.6	10.7	9.7	11.8
—+ 寄付金比率	0.8	0.7	0.9	0.8	0.9

貸借対照表財務比率の推移(1)

%





5. 財務比率比較表

(単位:%)

区 分				西南学院		全国平均	同系統	評価
				2012年度	2011年度	2011年度	2011年度	
貸借対照表関係比率	自己資金は充実されているか	自己資金比率	自己資金 総資金	90.8	90.6	86.9	88.0	△
		消費収支差額比率	消費収支差額 総資金	1.2	0.9	△ 10.5	△ 11.6	△
		基本金比率	基本金 基本金要組入額	99.6	99.4	97.1	97.5	△
	長期資金で固定資産は賄われているか	固定比率	固定資産 自己資金	98.9	101.2	100.1	98.4	▼
		固定長期適合率	固定資産 自己資金+固定負債	94.0	95.8	92.2	91.3	▼
	資産構成はどうか	固定資産比率	固定資産 総資産	89.8	91.7	87.0	86.6	▼
		有形固定資産比率	有形固定資産 総資産	60.7	62.6	61.2	61.6	▼
		その他の固定資産比率	その他の固定資産 総資産	29.0	29.0	25.8	25.0	△
		流動資産比率	流動資産 総資産	10.2	8.3	13.0	13.4	△
		減価償却比率	減価償却累計額(図書除く) 減価償却資産取得額(同)	36.1	35.1	46.1	46.9	～
	負債に備える資産が蓄積されているか	内部留保率	運用資産-総負債 総資産	30.0	28.0	25.7	26.4	△
		運用余裕比率	運用資産-外部負債 消費支出	2.1	2.0	1.8	1.9	△
		流動比率	流動資産 流動負債	230.0	193.7	230.3	261.8	△
		前受金保有率	現金預金 前受金	283.1	182.0	311.7	333.0	△
		退職給与引当預金率	退職給与引当資産 退職給与引当金	100.0	100.0	66.1	65.3	△
	負債の割合はどうか	固定負債比率	固定負債 総資金	4.8	5.1	7.5	6.9	▼
		流動負債比率	流動負債 総資金	4.4	4.3	5.6	5.1	▼
		総負債比率	総負債 総資産	9.2	9.4	13.1	12.0	▼
		負債比率	総負債 自己資金	10.2	10.3	15.1	13.6	▼
	消費収支計算書関係比率	経営状況はどうか	帰属収支差額比率	帰属収入-消費支出 帰属収入	4.6	1.5	3.4	1.1
収入構成はどうか		学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 帰属収入	74.6	77.1	72.7	73.7	～
		寄付金比率	寄付金 帰属収入	0.9	0.8	2.3	1.9	△
		補助金比率	補助金 帰属収入	11.8	9.7	12.4	13.9	△
支出構成は適切であるか		人件費比率	人件費 帰属収入	60.0	62.0	54.0	57.8	▼
		教育研究経費比率	教育研究経費 帰属収入	27.1	27.6	30.9	28.8	△
		管理経費比率	管理経費 帰属収入	6.8	7.1	8.7	9.6	▼
		借入金等利息比率	借入金等利息 帰属収入	0.0	0.0	0.4	0.3	▼
		基本金組入率	基本金組入額 帰属収入	8.6	13.2	11.6	10.7	△
収入と支出のバランスはとれているか		減価償却費比率	減価償却費 消費支出	11.3	9.9	11.3	10.8	～
	人件費依存率	人件費 学生生徒等納付金	80.4	80.4	74.4	78.3	▼	
	消費収支比率	消費支出 消費収入	104.4	113.5	109.2	110.8	▼	

・(資料)平成23年度版 今日私学財政(日本私立学校振興・共済事業団)

・上表区分中、「全国」は医歯法人を除く、「同系統」は「文他複数学部;158法人」である。

・(評価)△ 高い値が良い ▼ 低い値が良い ～ どちらともいえない

6. 学生生徒等納付金一覧表

2012(平成24)年度 学生生徒等納付金一覧表

年額単位:円

項目	大学院	大学	高等学校	中学校	小学校	幼稚園
入学金 (入学申込金)	135,000 <135,000>	270,000	40,000	100,000	100,000	80,000
施設拡充費			250,000	200,000	200,000	30,000
計 (入学時)	135,000 <135,000>	270,000	290,000	300,000	300,000	110,000
授業料	576,000 <1,100,000>	720,000	360,000 (30,000)	360,000 (30,000)	540,000 (45,000)	294,000 (24,500)
施設費	130,000 <130,000>	130,000	90,000 (7,500)	90,000 (7,500)		30,000 (2,500)
教育充実費					60,000 (5,000)	
保育充実費						54,000 (4,500)
空調費			12,000 (1,000)	12,000 (1,000)		
計(毎年)	706,000 <1,230,000>	850,000	462,000 (38,500)	462,000 (38,500)	600,000 (50,000)	378,000 (31,500)
合計	841,000 <1,365,000>	1,120,000	752,000	762,000	900,000	488,000

注1. < >内の数字は法科大学院の納付金を示す。

2. ()内の数字は毎月の納付金を示す。

3. 卒業延期生の授業料は、一単位当たりの授業料(学部:@23,000円、大学院:@40,000円、法科大学院:@30,000円)×不足単位数で算定する。

4. 休学時は、在籍基本料を年間120,000円(半期60,000円)徴収する。(授業料、施設費は徴収しない)

5. 本学からの大学院入学生(法科大学院生も含む)については、入学金を徴収しない。

6. 中・高一貫教育に伴い本学院中学校から高等学校へ入学する者については施設拡充費200,000円を徴収し、入学金は徴収しない。

学校法人西南学院 所在地

学院本部、西南学院大学（大学院・法務研究科を含む）

〒814-8511

福岡市早良区西新六丁目2番92号 電話 092-823-3201

学校法人 <http://www.seinan-gakuin.jp/>

大 学 <http://www.seinan-gu.ac.jp/>

西南学院中学校・高等学校

〒814-8512

福岡市早良区百道浜一丁目1番1号 電話 092-841-1317

<http://www.seinan.ed.jp/hs/>

西南学院小学校

〒814-8513

福岡市早良区百道浜一丁目1番2号 電話 092-841-1600

<http://www.seinan.ed.jp/es/>

舞鶴幼稚園

〒810-0053

福岡市中央区鳥飼一丁目6番1号 電話 092-751-6650

<http://www.seinan-gu.ac.jp/youchien/>

早緑子供の園

〒810-0053

福岡市中央区鳥飼一丁目6番5号 電話 092-761-3408

<http://www.seinan-gu.ac.jp/hoikuen/>